

京柔整会報

新年号 機関誌 146号



新年のご挨拶

会長 長尾 淳彦

特集

【会員インタビュー】北丹支部 久保清嗣会員に聞く
「本会最北端、最西端の接骨院」

公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成30年1月20日

京都医健専門学校 柔道整復科

3
年制

I部 午前集中コース
I部 午後集中コース

【柔道整復師】

京都医健は全国に約70校の姉妹校を有する滋慶学園グループの1校です。そのうち8校が柔道整復師を養成しております。姉妹校とのネットワークを活かし、国家試験対策を入学前から行っています。また、e-learningを用いてパソコンや携帯でいつでも学習ができます。万が一、国家試験が不合格になった場合は授業料無料でサポートします。



毎年高い国家試験合格率
2017年3月合格実績

97.4%

77名中
75名合格
全国平均 63.5%

1年から始まる
苦手克服の補講

オリジナルのゼミ・セミナーが充実
柔道整復師会主催の
保険講習会

トレーナーゼミ
現場研修

滋慶学園グループ
全国柔道大会 **9**連覇達成

柔道部顧問
柔道整復科 学科長
柔道整復師
Minatoya Chikara
湊谷 知幹
柔道整復科 専任教員
柔道整復師
Utsumi Yuko
打味 裕子

京都医健は、「既修得単位認定制度」を設けています。

あなたの
学費を
サポート!!

あなたのキャリアを 最大限に活かす! 既修得単位 認定制度

大学・短期大学・専門学校の専門課程において既に履修された授業科目(基礎科目・専門基礎科目)で、本校のカリキュラムと同一科目もしくは授業内容が同一の場合、単位を認定し、その科目の履修を免除します。また認定された科目に対し授業料を一部免除します。さらに、学校長が判断した場合、授業科目が同一でない場合も単位を認定することがあります。

既修得単位認定制度で 履修単位の免除 授業料の免除 を受けることができます

<p>鍼灸科</p> <p>3年制</p> <p>I部[昼間]午前集中コース I部[昼間]午後集中コース</p>	<p>理学療法科</p> <p>4年制</p> <p>I部[昼間] II部[夜間]</p>	<p>作業療法科</p> <p>4年制</p> <p>I部[昼間]</p>	<p>視能訓練科</p> <p>3年制</p> <p>I部[昼間]</p>	<p>言語聴覚科</p> <p>2年制</p> <p>I部[昼間] ※大卒者対象</p>	<p>社会福祉科</p> <p>1年制</p> <p>II部[夜間] ※大卒者等対象</p> <p>精神保健福祉科</p> <p>1年制</p> <p>II部[夜間] ※大卒者等対象</p>	<p>スポーツ科学科</p> <p>2年制</p> <p>スポーツトレーナーコース アスレティックトレーナー専攻 スポーツトレーナー専攻 スポーツインストラクターコース フィットネスインストラクター専攻 チャイルドインストラクター専攻 スポーツメディカルコース スポーツビジネスコース</p>	<p>トータルビューティー科</p> <p>2年制</p> <p>ビューティー総合コース エステティックコース ビューティーアドバイザーコース メイクアップアーティストコース</p>
---	--	--	--	---	---	---	--

※ご不明な点は、オープンキャンパスまたはお電話でお問い合わせ下さい。

スポーツ・医療・福祉・ビューティーが学べる

学校法人 滋慶京都学園 厚生労働大臣指定校
日本協公認アスレティックトレーナー免除適応コース承認校

医健KEN 京都医健専門学校

0120-448-808

〒604-8203 京都市中京区三条通室町西入衣棚町51-2

メール info@kyoto-iken.ac.jp

携帯サイト http://kyoto-iken.ac.jp

WEBサイト http://www.kyoto-iken.ac.jp

携帯サイト

携帯・PHSから
QRコードで
簡単アクセス!



京都医健

検索

目 次

●	新年のご挨拶	会 長	長尾 淳彦	3
●	新年のご挨拶	京都府知事	山田 啓二	4
●	新年のご挨拶	京都市長	門川 大作	5
●	新年のご挨拶	京都府医師会会長	松井 道宣	6
●	新年のご挨拶	衆議院議長	伊吹 文明	7
●	新年のご挨拶	衆議院議員	田中英之	8
●	新年のご挨拶	参議院議員	二之湯 智	9
●	新年のご挨拶	参議院議員	西田 昌司	10
●	新年のご挨拶	京都府議会議員	田中英夫	11
●	新年のご挨拶	京都府議会議員	片山 誠治	12
●	新年のご挨拶	京都府議会議員	村田 正治	13
●	新年のご挨拶	京都市会議員	橋村 芳和	14
●	新年のご挨拶	副会長	柴田 宗宣	15
●	新年のご挨拶	副会長	林 啓史	16
●	新年のご挨拶	総務部長	中田 康人	17
●	新年のご挨拶	保険部長	中村 英弘	18
●	新年のご挨拶	事業部長	岡田 達也	19
●	新年のご挨拶	財務部長	谷山 和浩	20
●	新年のご挨拶	広報部長	中川 稔貴	21
●	新年のご挨拶	学術部長	田中 弘昭	22
●	新年のご挨拶	保険副部長	安本 彰吾	23
●	新年のご挨拶	監事	見原 誠	24
●	新年のご挨拶	協同組合 理事長	関 弘美	25
✦	特集 【会員インタビュー】北丹支部 久保清嗣 ^{きよし} 会員に聞く 国会最北端、最西端の接骨院			26
✦	第42回近畿学術大会 和歌山大会			28
✦	京都・健康と福祉のひろば「あらためて考えよう 国民皆保険制度 ～失うとこんなに変わる私たちの未来～」			30

✿	第41回日整全国柔道大会・第26回日整全国少年柔道大会・第7回日整少年柔道形競技会	31
✿	第69回京都接骨学会 (京都府補助金事業「京都府医療従事者の向上事業」)・保険講習会	34
✿	第26回日本柔道整復接骨医学会 「地域のゲートキーパーとしての柔道整復師」	35
✿	救護活動報告 ・第29回市民スポーツフェスティバル救護活動報告	36
	・第50回松谷杯柔道大会	37
✿	会員投稿 ・フランス・オクシタニ州、オクシタニ柔道クラブと交流	37
✿	コラム ・ニワトコ(接骨木)について	38
👤	会員の動静	40
📌	掲示板コーナー	40
📄	編集後記	41

表紙の写真

終い弘法

弘法大師・空海の月命日にあたる21日に毎月開かれる縁日「弘法さん」は、境内に1,000軒以上の古道具や古美術の露店が出る京の名物市。中でも1年最後の縁日は「終い弘法」と呼ばれ、正月用品を商う露店や松竹梅の鉢植えなどの植木市も出て多くの人でにぎわいます。

新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦

新年明けましておめでとうございます。平成30年の新春にあたり謹んでご挨拶申し上げます。本会業務の円滑な遂行のため、京都府、京都市をはじめ関係各位の皆様にはご理解ご協力を賜り心より深く感謝申し上げます。また、会員の先生方におかれましては、東山の旧会館を売却して一年が過ぎ、壬生の手狭な事務所での会執務で大変ご苦勞を掛けております。

新会館の用地もようやく決定して、京都の柔道整復師のランドマークとしての役割を果たしたいと考えております。現在においてもその役割を果たしていますが、柔道整復師のみならず、行政、保険者、マスコミ、府民、市民の皆様には「柔道整復」のことなら京都府柔道整復師会館に行けば何でもわかるという認識を持ってもらい身近な「ほねつぎ会館」を感じていただきたいと思っています。完成は平成31年中と考えております。丁寧な説明を行いながら進めていきます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、日本柔道整復師会を中心に進めてきた柔道整復師に係る制度改革ですが、平成30年4月から柔道整復師養成施設の新入生に対しては改定されたカリキュラムに沿って授業が行われます。また、柔道整復療養費の受領委任の取り扱いを管理する「施術管理者」になるための要件についても、これまでは柔道整復師の資格のみで可能でしたが、平成30年4月から新たに資格取得後の「実務経験」と「研修の受講」が必要となります。

「柔道整復療養費の電子請求」に関する国のヒアリングも昨年末からはじまり、本会が全国5つのヒアリング対象団体のひとつとして選ばれ実施されました。

「施術所の広告などに関する検討会」も厚生労働省医政局医事課で開催の検討をされており、何をするとどこかよくわからなかった施術所の広告についても整理されます。

すべてが「患者安全」「医療安全」の観点からの改定・見直しです。医療職種としての「柔道整復師」のスキルアップは自らの手で行わなくては誰も手助けしてくれません。

会長として、そのための努力は柔道整復師の誇りと自覚を持って尽くしてまいりたい所存です。

結びにあたりまして、関係各位の皆様にとりまして今年一年が素晴らしい年となることをお祈り申し上げますとともにご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。

明日の京都を描くため

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。



京都府知事 山田 啓二

昨年を振り返って

京都府では、林田・荒巻府政以来築き上げてきた社会基盤がいよいよ実を結ぶ時期となりました。昨年4月に新名神高速道路の城陽・八幡京田辺間が開通し、ついに京都は京丹後市から木津川市まで高速道路によってひとつに繋がりました。

「海の京都」、「森の京都」と続き、昨年は「お茶の京都」事業により、南部地域全体に大変多くの方が訪れるとともに、北部地域では、美しい絹織物の地「丹後ちりめん回廊」が日本遺産に認定されるなど、観光面でも過去最高の賑わいとなり、府域全体が大きな盛り上がりを見せた一年となりました。また、文化庁の全面的京都移転も正式に決定、移転場所も府庁の警察本部本館に決まり、名実ともに京都が「文化首都」と位置付けられ、文化芸術立国に向け大きな役割を担うことになった重要な節目の年となりました。

しかしながら一方では、依然、我が国周辺で安全保障について大きな緊迫感が続くとともに、少子高齢化や東京一極集中の加速、子どもの貧困など様々な課題が改めて浮き彫りになった一年でもありました。

未来を切り拓く鍵

こうした背景には、少子高齢化や情報化、国際化の中で、家族形態も含め社会の多様化が進展することに対して、「地域の力」「自治の力」が低下し、旧来の制度や考え方は支えきれない局面が生まれてきたことがあげられると思います。

特に近年では、様々な格差の問題や孤立社会といわれる無関心時代の到来も指摘される中、京都府では、従来から地域力再生を掲げ、地域の絆などの新しい地域づくりの環境・土台を基に、半公半Xの公共員制度や地域の公民の生活機関を集中化したコミュニティコンビニの整備、子ども食堂や居場所づくりのためのこどもの城事業、さらに高齢化時代に医療、介護、福祉を連結させる地域包括ケアの推進、女性活躍から障害のある方の農業分野での活躍を支える農福連携など、幅広く「共生社会」の実現に向け取り組みを進めてまいりました。

新しい時代へ

今年、「明治」への改元、そして京都府の設置から150周年にあたります。当時、京都では、多くの人や産業が東京へ移り、3分の1の人口が減少したため、千年にわたって都として栄えた京都は、かつてない大きな危機に直面しました。

そのような激動の時代にあっても、京都府は、日本初の小学校（上京27番組（柳池）小学校）や女学校（新英学校および女紅場）、盲ろう学校（京都盲啞院）の開校、府立医科大学の前身である医学校を療病院に付置、京都大学の前身である第三高等中学校の大阪からの誘致、同志社大学の設置許可など人づくりを中心に府政を進め、さらに琵琶湖疏水の建設や経済界とも連動した京都博覧会の開催で産業の振興を図り、西陣織や茶業など様々な分野で新たな取り組みを進め、京都を復活させました。これが京都府政の原点であります。

そうした先人たちの努力が今日の京都の礎を築いてきたのであり、そこには、どんなに困難なときも未来に投資をして、未来のために現代を生きる京都の気概があります。

この150周年という節目を迎えるにあたり、今の京都の基盤が形作られてきた明治の時代を振り返り、常に先進的な取り組みを続けてきた先人たちの姿勢を受け継いで、新しい人づくりと文化力づくりによって京都の生き方が一層魅力あるものになるように、私たちは全力を挙げなければなりません。

京都には今、年間8,700万人もの観光客が訪れており、世界的にも日本、そして日本文化のふるさと・京都への関心が高まっていますが、2019年から3年連続でラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西と大規模な国際大会が開催されます。

この機を捉え、「京都文化力プロジェクト2016-2020」をはじめオール京都で力を合わせ、京都から日本の文化を発信し、大きな交流の渦が巻き起こるよう、全力を傾けてまいりたいと存じます。

人と文化によって地域の資源、歴史、伝統を活かし、人と人が支え合う共生社会の実現により、地域の力を再び取り戻し、新たな時代を切り拓くため、共に歩んでまいりましょう。

私は、この4月で任期を全うする予定ですが、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

世界文化自由都市・京都の実現を目指して



京都市長 門川 大作

あけましておめでとうございます。

新年に当たり、公益社団法人京都府柔道整復師会の皆さんの御多幸を心からお祈りいたします。

皆さんの御支援をいただき、市長就任後10回目の新年を迎えました。この間、徹底した現地現場主義で八千近い市民活動や市政の最前線を訪れ、京都の今を見つめ、未来のためにまい進してまいりました。

「美しいまち京都が誇らしい」「まち歩きを安心して楽しめるようになりました」。多くの方からこうしたお声を頂く度、京都のまちが着実に深化してきたことを肌で感じ、嬉しく、御尽力の皆さんに感謝しています。

そして迎えた本年。京都が最高の都市理念として掲げた世界文化自由都市宣言から40年です。「広く世界と文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市」。この理想の実現を目指し、「文化」を基軸としたまちづくりを更に加速させる年がスタートしました！

文化庁が機能を強化し、2021年度に京都へ全面的に移転。これを大きな力に、子育て支援や教育・福祉、観光、景観、環境、中小企業の活性化、雇用の創出、安心安全など、あらゆる施策に文化で横串を通す。さらに、文化や地域活動に親しむ「京都ならではの働き方改革」でまちに一層の活力を生み、地方創生のモデルを示す。新年を迎え、決意を新たにしています。

そして本年は、明治維新から150年。都の地位を失い、都市存亡の危機を迎えていた京都を、全国初の小学校や芸大、工業高校の創設、琵琶湖疏水や市電の開業などで見事に復興させた先人たち。その志と偉業に学び、共に挑み続ければ、様々な課題を克服し、世界文化自由都市の理想を実現できる。私は確信しています。

「日本に、世界に、京都があってよかった」と多くの方に実感していただけるよう、本年も共に全力を尽くします。



新年のご挨拶



一般社団法人京都府医師会
会長 松井道宣

公益社団法人京都府柔道整復師会の会員の皆様方、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、公衆衛生の向上、社会福祉の増進を目指し、柔道整復師の資質向上、生涯教育、公益活動等、様々な面において重要な役割を果たされておられますことに、改めて深甚なる敬意を表します。

さて、昨年は地域医療構想や京都府地域包括ケア構想の策定、働き方改革実行計画の発表等、新しい取り組みが行われた激動の始まりを予感させる年でありました。本年は、「第7次医療計画」「第3期医療費適正化計画」「第7期介護保険事業計画」がスタートし、診療報酬及び介護報酬の同時改定が行われ、今後の医療・介護施策において極めて大きな節目の年であります。未曾有の超高齢社会が進む中、国民が安心して住み慣れた場所で生活を続けるために、我々が取り組むべきは、地域医療の一層の充実と次世代のための医療提供体制の構築を含めた街づくりであります。京都府医師会といたしましても、京都府柔道整復師会の皆様をはじめ、関係団体との更なる連携強化を図り、医療・福祉を守り、発展させて、皆保険制度堅持のために尽くしてまいりたいと考えております。

結びにあたりまして、貴会の今後のますますのご発展とご活躍をご期待申し上げますとともに、本年が、会員の皆様方にとって良き一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



日本柔道整復師会 顧問
京都府柔道整復師会 顧問
衆議院議員 **伊吹文明**

新年明けましておめでとうございます。京都府柔道整復師会の先生方にとり、本年が良き年であることをお祈りし、変わらぬご厚誼をお願い致します。昨秋の総選挙では、温かいご支援をいただき、お陰様で連続12回目の当選を果たすことができました。心から御礼申し上げます。幸い健康にも恵まれ、各党の同僚政治家の皆さん、お役所、各種団体等からの報告やご相談ごとの対応、講演・応援等々に多忙な毎日を過ごしています。

私は初当選以来、日本社会に受け継がれてきた日本人の生き方や矜持を大切に、競争社会・市場経済の避けぬ弊害を抑え、公正な社会を実現し、自助の気概と自己抑制を失わぬ品性ある国民による品格ある「日本国のかたち」を目指してまいりました。

しかし現実には、豊かになったが故に、日本は長寿少子化による経済活力の低下、労働力不足、社会保障支出の増加による財政の悪化に苦しんでいます。加えて豊かで行き届いた社会で生きていくには賃金が高くなります。結果として労働生産性の低下は、生産拠点の海外移転を生じ、ものづくりの基盤が国として揺らいでいます。

実はそれ以上に深刻なのは、豊かさのなかで日本人が大切に護ってきた勤勉、絆、公的貢献などの伝統的規範が劣化していることです。次の世代に良き日本を引き継ぐには、政治の努力が必要なことは言うまでもありませんが、何より主権者である皆さまの一人おひとりの毎日が、日本の今後を左右すると言っても過言ではありません。今年も決意を新たに、協力し、助け合って日本国と国民のために努力してまいりたいと思います。

本格的な少子・長寿社会、人口減少時代においても、安心して医療が受けられるには、医療提供者、保険の管理者、患者であり最終負担者である国民が公平に役割りを分かちあい、医療財政の基盤を確かなものにしておかねばなりません。医療の財源を支える経済活力を維持するためにも、現役世代の勤労意欲、世代間の負担と給付のバランスが何より必要だからです。

永く国民に受け入れられてきた柔道整復術も療養費払いという保険制度に基盤をおいている以上この例外ではありません。加えて今年から療養費の扱いに管理柔整師制度が導入され、また療養費の改定も予定されています。日本柔道整復師会の先生方には、社会的に批判を受ける施術者とは一線を画し、社会での立位置をしっかりと確立されることを願っています。私も政治の場で引き続き先生方のため、患者さんのため、努力したいと存じます。

結びに、先生方のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶と致します。

さくさくと 霜踏み子等の 歩み行く

新年のご挨拶



衆議院議員 田中英之

新年あけましておめでとうございます。

京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、お健やかに輝かしくも平成30年の新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。京都府柔道整復師会会長長尾淳彦様をはじめ会員の皆様におかれましては、平素より私の諸活動に温かいご理解とご支援を賜っておりますことに心より御礼申し上げます。併せて先の衆院選では力強いご支援を賜りましたこと誠に有難く、重ねて厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、皆様ご承知のとおり、我が国を取り巻く環境は厳しい側面があることは周知の事実です。我が国の安全保障をどう確保していくか、国際社会の枠組みの中で、しっかりとした連携を図りながら、適切な対応が求められる事態と考えています。先の衆院選でお寄せいただいた国民の皆様からの信託にお応えするためにも、しっかりとした議論が行われるよう、国会の身を置く者の一人としてその職責を果たしていきたいと考えております。併せて、国民の皆様が安心して暮らしていける社会を持続させていくことも、地域の力を維持していくためには必要なことと考えています。超高齢社会の到来が予測される中、健康長寿を目指すためにも身体機能改善によるケガの防止等も非常に重要であります。日本に古く存在する柔道整復術が人のからだに潜在する能力を引き出し、心と体を元来の状態に整え、健康を長く持続させる治療法として大変効果があるものと大きく期待しております。

どうか柔道整復師の先生方におかれましては、今後も地域に根付く安心の発信基地として、大いに活躍されますことを心より念願いたしております。私も衆議院議員として、地域の皆様が安心して暮らしていけるため、引き続き精一杯努力してまいりますことをお誓い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会の一層のご盛昌と会員各位のご健勝ご多幸を心より祈念し、新年に寄せるご挨拶といたします。



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、京都府柔道整復師会におかれましては、会長 長尾淳彦様を先頭に、柔道整復学術・技術の研鑽に精力的に取り組まれ、国民医療の向上はもとより、各種研修会活動や柔道を通じた青少年の健全な育成を目指す活動などの多大なご尽力に深甚なる敬意を表します。

また、自由民主党並びに私の活動に対しまして、格別のご指導ご協力を賜り御礼を申し上げます。先の衆議院議員総選挙におきましては、我が安倍政権が信任を得る結果をいただきました。京都府柔道整復師会の皆様方にも多大なるご支持ご支援をいただいた結果であると心より感謝を申し上げる次第であります。

参議院議員 二之湯 智

さて、我が国を取り巻く世界情勢は、各国でナショナリズムが世論として多数を占め、歴史の転換期であると言えます。相対的なアメリカの地位の低下から、日米関係の問題や隣国からのミサイルの脅威など、課題が山積しており、どれも一筋縄ではいかない難しい問題ばかりであります。

このような中、日本の政治は比較的安定をしておりますが、世界秩序を維持し、自国を守り抜くためには、強力なリーダーシップが求められており、私もより一層国民の負託に応えていかなければなりません。国民一人ひとりが希望を持ち活躍できる社会、自助自立を基本としながら、共助公助で支えあう温かい絆のある社会の実現に向けて全力を注ぐ覚悟であります。

これからも京都の限りない発展と京都府柔道整復師会事業の推進のため、全力で取り組んで参りますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい1年になりますようお祈り申し上げますとともに、京都府柔道整復師会の益々のご発展と、会員の皆様方のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問
参議院議員 西田昌司

新年明けましておめでとうございます。

日頃より、京都府柔道整復師会の先生方には格別のご厚情を賜り、心より感謝を申し上げます。

「柔道整復」は医師とは異なり、薬剤投与も外科手術もなく、自然治癒力を活性化させるものであると伺っております。様々な理由や事情で、投薬治療や手術ができない人たちにとって、自然治癒力活性化させる柔道整復は非常に重要な位置づけであることと存じます。

貴会におかれましては、長尾淳彦会長を中心に、先生方の強い絆のもと、国民の柔整業務に対する社会的要請に応えながら、災害救護や防災訓練の協力、スポーツ大会のボランティア救護活動等、様々な活動を通じて国民の健康増進に熱意をもって貢献されておられます。

また、柔道整復は、地域に根ざした運動器の疾患のファーストステージでもあり、確かな知識と技術を備えたプロフェッショナルとして、地域住民の健康増進に大いに貢献していただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

世界に例をみない長寿国家となったわが国は、今まで以上に医療サービスの質の向上を目指していくための努力が、各所において強く要請されております。こうした時代の中、今後とも先生方が、これまで培ってこられた実績と信頼のもとに、柔整業務を通じて地域住民の健康増進、さらには、府民をはじめとする国民が安心して、生きがいをもって暮らせる豊かな社会構築に寄与して頂きますよう、心より念願いたしております。

私も皆様方のご理解、ご協力のもとに、国民生活の向上と、更なる京都府発展のため、全力を尽くす所存です。

結びにあたり、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、京都府柔道整復師会の益々のご発展と、会員皆様方のより一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



京都府議会議員 田中英夫

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の先生方におかれましては、平成30年の新春をお健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

本年が先生方にとりまして素晴らしき良き年となりますよう年頭にあたり心よりお祈りいたします。

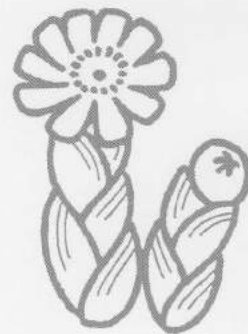
京都府柔道整復師会におかれましては公益社団法人として公共の福利のために日々ご活躍いただきつつ、先生方には日頃より地域に密着した医療や救援救護、青少年育成活動など幅広いご活動を通じて府民市民の健康と安心安全の推進にご貢献いただいているところであり、改めまして深甚なる敬意と感謝を捧げる次第です。

本年もより一層のご活躍あらんことをお祈りいたします。

特に今、本府においても医療、福祉、介護の連携の充実、そして包括ケアシステムの推進が重要な施策課題となっています。府民の皆様様の健康と生活面での安心安全、特に高齢者の方々の健康と日常生活を満足に過ごせるための施策こそが今求められています。今後も高齢化への比率が加速度的に進んでゆく中で、柔道整復師の先生方が、高齢者の方々の日々の健康保持や、また、介護の場における施術、治療、居宅支援など広い分野でのご活躍を賜っていますこと、また、スポーツ関係者のケアや府民の方々全てに広く健康管理の面でお世話になっていますことは、人々の日々の生活の中での健康や安全安心こそ行政にとって最大の福祉であり使命であると考えます時、そのご尽力に改めて深く感謝申し上げる次第です。

また、後になりましたが、過日は衆議院総選挙につきまして、あついご支援を賜り誠にありがとうございました。京都府柔道整復師会の先生方には常に自由民主党への、そして我々地方議員にもあたたかいご支援をいただいていますこと、議員の一人として心より感謝申し上げますとともに、今後とものご鞭撻をよろしくお願いいたします。

結びにあたり、本年が皆様にとりまして最良の年となりますよう、併せて長尾淳彦会長様を先頭に公益社団法人京都府柔道整復師会の益々のご発展と会員先生方のご繁栄を心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問
京都府議会議員 片山 誠 治

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の諸先生方におかれましては、輝かしい新年をお健やかに迎えのことに心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては常日頃より、柔道整復を通じての治療や後進の育成にとどまらず、時代のニーズに応え、青少年の健全育成や介護予防活動、救護活動など、多岐に亘る公益性を伴った諸活動を展開されておりますことに、心より敬意を表します。

府民の健康増進と健全な体力維持、また高齢者の健康寿命維持ために、貴会の果たされる社会的役割は今後益々、高まりをみせると存じます。府民が安心して暮らせる社会の一端を担っておられる貴会におかれましては、

尚一層の充実した活動をお続け頂くことを心より念願いたします。

私もまた私なりに貴会の諸活動に関わらせて頂き、豊かで明るい社会の創造と安心安全の暮らしの構築のために、鋭意努力邁進して参りたいと決意しておりますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人京都府柔道整復師会の更なるご発展と、会員の諸先生各位のご活躍を心よりお祈り致しまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問
京都府議会議員 **村田 正治**

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の諸先生方におかれましては、輝かしい新年をお健やかに迎えのことに心よりお慶び申し上げます。

長尾淳彦会長をはじめ、京都府柔道整復師会の皆様方には、日頃より柔道整復術の向上はもとより、医療・救護活動への参画や講習会・勉強会の開催など、府民の皆様の健康増進に多大なる御貢献をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

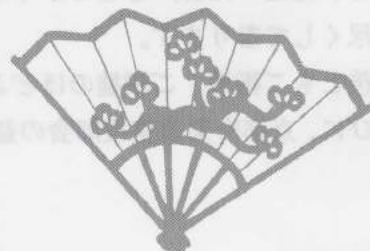
昨年5月、多くの皆様の御支援のもと、京都府議会の第80代議長に就任をさせていただきました。今後とも、皆様のお力添えのもと、府民の皆様のニーズを踏まえながら、開かれた議会運営と京都府政の発展、

そして、府民の皆様が安心して、心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向け、微力を尽くしてまいりますことをお誓い申し上げます。

さて、今年9月の総務省人口推計では、90歳以上の人口が初めて200万人を上回ったほか、我が国の高齢者人口割合は、依然として世界で最も高い水準にあり、それに伴い、高齢者の皆様の就業機会も多くなってきております。

こうした中、高齢者の皆様が安心して生きがいを持って生活していくためには、介護予防など、日常生活の中で健康増進に取り組むと同時に、地域包括ケアを担う専門的人材の育成や質の高い柔道整復術の提供等を図っていくことが重要であります。柔道整復師の皆様方には、各種事業の積極的な展開を通じて、今後とも地域に密着した御活動に、引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会のますますの御発展と会員の諸先生方の御活躍、御健勝を心から祈念申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。



新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問
京都市会議員 橋村 芳和

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えされましたことを心からお慶び申し上げます。

先生方におかれましては、日本が世界に誇る伝統ある柔道整復を通じて市民の健康の増進のため、日々従事され、そのご活躍に感謝申し上げます。近年は健康長寿が大きく叫ばれる時代にあって、その社会的使命はより重要になっております。一層のご尽力をお願い申し上げます。

京都市では昨年4月より市民と行政が一体となり、子どもを社会の宝として大切に育む生活文化を「はぐくみ」文化として創造し、発信すべく、「子ども若者はぐくみ局」が新設されております。先生方には柔道を通じて子どもたちののびやかな育成に貢献されておりますことにも、深く敬意を表するものであります。

昨年夏に、オランダの選手一行が伏見区の道場で交流戦を行われ、観戦する機会がありました。私も小学生時代に柔道を習っておりましたので、特に少年選手の活躍に胸が熱くなりました。2020年東京オリンピック・パラリンピックも近づいていることから、更なるご活躍をお祈り申し上げます。

また、昨年は10月に衆議院総選挙が行われましたが、突然の解散であり、大変慌ただしい中にあっても、一貫して自民党を力強くご支援をいただきましたことに対しても、心より御礼申し上げます。

さて、私は現在、自民党京都市会議員団の代表幹事として、市政の発展のために二元代表制の下で市長と議会が車の両輪として円滑な運営を目指すとともに、市民の皆様に議会の活動がしっかり「見える」「伝わる」「わかりやすい」取組を積極的に推進致しております。

思い返せば平成3年の初当選以来、長尾淳彦会長はじめ、会員の皆様の温かいご支援とご指導のおかげであると強く実感致しております。重ねて厚く御礼申し上げます。

来る2月には、平成30年度の予算を審議する2月定例会が開会致しますが、日頃より皆様からいただいたお声をしっかり市政に反映をし、福祉と医療の先進都市京都の実現のため全力を尽くして参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

新年のご挨拶



副会長（筆頭） 柴田 宗宣

新年明けましておめでとうございます。会員の先生方ならびにご家族の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられましたこと、こころよりお慶び申し上げます。

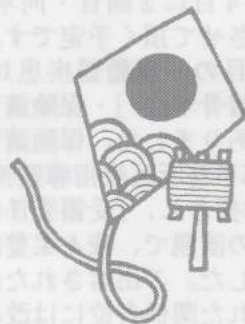
さて、2018年は待ちに待った柔整業界改革の第一歩になるでしょう。昭和63年に個人契約が開始され、平成10年には柔整養成校の設立要項が変更されると、この30年の間に資格者増大による不正請求や広告違反などにより業界の信頼は失墜しました。その低下したモラルの回復のために2つの大きな改革が始まろうとしています。

一つ目は教育改革、養成校カリキュラム等の見直しです。これまでは総単位数が85単位で履修条件を満たしていましたが、それが99単位以上となり、履修時間数も1,530時間から最低2,750時間以上、専任教員、教授範囲の見直しなどが検討され、週に3日も行けば履修条件を満たすような利益主義で開校した柔道整復師養成施設が少なくなるのは時間の問題だと考えます。また、臨床実習施設を養成施設附属臨床

実習施設以外にも拡大するなど、臨床実習を行う施設要件の見直しがされ、この実務研修先として本会社会員の接骨院で研修していただき、本会の良さを学生さんに知っていただくことが会員増強にもつながると考えております。

二つ目は制度改革です。施術管理者の要件強化として、資格取得後に実務経験と研修または講習受講を経なければ受領委任を取り扱えないこととなります。現状では施術管理者が新卒の未経験者で、国家資格を得るまでに保険請求業務の実務経験がないだけでなく、実際の施術業務の経験もほとんどないような場合でも、ただ登録手続きをするだけで保険請求ができます。こうした柔整業界の盲点・弱点ともいえるべき部分に目をつけ、新卒者の資格だけを利用してチェーン店化した接骨院の開業に歯止めがかけられます。その他にも審査会の権限強化、同じ柔整師というだけで公益団体の会員も他団体の会員や個人契約者も一括りにされています。地域の公益活動を懸命に行っている社団会員と、問題の多くを占める他団体や個人契約者との違いを厚労省をはじめとする関係機関・団体に認識していただくことで、柔道整復師の信頼と公益社団所属会員の信頼を回復するチャンスの年が来たと考えております。

本年も諸先生方に、ご協力を賜りますことをお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



副会長 林 啓 史

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は本会の業務推進に多大なるご協力とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、平成29年6月11日開催の(公社)京都府柔道整復師会定時総会にて選任された役員で新執行部・長尾体制2期目が発足し、長尾淳彦会長のもと副会長(保険部・学術部・事業部担当)を拝命致しました。会長が掲げておられるスローガンの達成に向けて邁進し、会員の皆様の負託に応えていくことが副会長としての使命であると考えております。

また、昨年8月22日に補助金事業実施委員長を拝命し、平成29年度事業を進めております。この事業は平成27年度から3年目になり平成29年度は「運動器疾患対応力向上研修事業」を平成10月29日に1回目を終了・平成30年2月4日に2回目・同年3月18日に3回目を実施させて頂く予定です。

第1回目の「運動器疾患対応力向上研修事業(京都接骨学会)」・保険講習会には266人の出席者がありました。保険講習会には、近畿厚生局 京都事務所医療指導監視監査官 井上喜代彦様をお招きし、『受領委任の取扱いの理解のために』の演題で、我々柔整師に役立つご講演を頂きました。ご出席された会員の先生方、開催に携われた関係各位には改めてお礼申し上げます。

ます。

昨年9月には「柔道整復師の施術に係る療養費に関する通知」が出されました。主な内容は、厚労省地方厚生局の指導監査強化(人員増)、公的審査会の権限強化(申請書の返戻、患者調査、施術者調査、施術者からの聴取の権限を付与)、施術管理者の資格要件の見直し(3年間の実務経験、研修・講習会受講の義務化)等々。

更に、今年度は料金改定の年で付帯事項・マイナス項目等に注視が必要です。

次に、日整が掲げる改革の概要は、(昨年9月30日、日整の政策に関する意見交換会にて)

1. 教育改革
 - ・養成校カリキュラム等の見直し
 - ・柔道整復師学校養成施設
 - ・カリキュラム等改善検討委員会
2. 制度改革
 - ・柔整療養費受領委任協定の見直し
 - ・社会保障審議会
 - ・柔道整復療養費検討専門委員会
 - 「施術管理者」の要件見直し
 - 「柔整審査会の権限強化」
 - 「電子請求のモデル事業実施」
3. その他
 - ・不適正な広告への取り組みなど

日整が掲げる改革の概要は、「柔道整復師の施術に係る療養費に関する通知」に殆ど含まれていますが、これから検討されるものもあります。保険業務においても厳しい環境が続いております。毎日、どこかで大小の不祥事が起こっています。過去を見つめて振り返るのではなく過去の轍を踏まないようにして行きたいものです。

《おそれず・あなどらず・あせらず・おくれず》
どの様な変化にも脅威ではなく機会としてとらえ対応する。

日常業務におきましても、また、療養費申請におきましてもルールを守り、モラルのある行動をとり、良識のある柔道整復療養費支給申請書を作成していただきますようお願い致します。会員はもちろんのこと府内の柔道整復師には、多くの情報に接する機会を逃さず、本会主催の「運動器疾患対応力向上研修事業(京都接骨学会)」・保険講習会などの行事に皆勤して多くのことに気づいていただくことを切に願います。最後になりましたが、諸先生方のご多幸をお祈り申し上げます。

新年のご挨拶



総務部長 中田 康人

あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も世間ではアラ還と言われる年齢になり、時が過ぎるのを早く感じる中で、昨年も関係各位にご協力を賜りながら本来の総務部活動のほか、会館移転計画や僅かではありますが京都府の補助金事業にも携わることができ、充実した事業活動を行うことができました。年頭に当たり厚く御礼を申し上げます。

新年も執行部の一員として会員の皆様への貢献は勿論のこと、計画中の新会館建設に向けても尽力する所存でございますので、総務部主任の波多野晃彦ともども倍旧のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、この原稿を書くために以前投稿した挨拶文を確認していて気が付いたのですが、一昨年が申年（猿）、昨年が酉年（鳥・雉）、今年が戌年（犬）…桃太郎と鬼退治に出かけた動物たちが並び揃います。

一説によると桃太郎が鬼退治に行くための家来に犬と猿と雉が選ばれたのには陰陽五行説と干支が関係しているとか…。桃太郎は鬼門（丑寅の方角）である鬼に対抗して裏鬼門（申、酉、戌の方角）に位置する十二支の動物を選んだという解釈があり、鬼は風水では鬼門からやってくると考えられていたそうですから、鬼（鬼門）に対抗する意味で裏鬼門に位置する申（猿）、酉（雉）、戌（犬）を率いたということです。丑寅と鬼の関係ですが、牛のような角があり虎の皮のパンツを穿いているのが鬼というウソのような本当の話があります。

昨今、我々柔道整復師には制度改革や療養費支給申請の厳格化等々、鬼の襲来と感じさせられるような事案が続いている訳ですが、会員各位にとって少しでも桃太郎に登場する犬、猿、雉の役割を果たせますよう邁進して行きたいと考えております。

末筆になりましたが、関係各位の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



保険部長 中村 英弘

新年あけましておめでとうございます。会員の先生方、ご家族の皆様、関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、保険部の事業運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、保険部の事業は、療養費関係・介護保険関係・居宅介護支援事業所関係を担当させていただいており、関係各位をはじめ先生方に大変お世話になっております。

さて、『法令遵守』という言葉と接する機会が最近多くなっています。患者さんが接骨院に来院されてから問診などの後に施術を行い、施術録に遅れることなく記載して療養費支給申請書を作成し、入金されるまでの一連の業務を行うための「ルール」があります。その「ルール」が療養費の支給基準であり、それに則って業務をすることが『法令遵守』であります。『法令遵守』を文字にすると厳しいように感じますが、

当たり前の「ルール」なのです。スポーツ競技をするのにも「ルール」があり、それを守らなければ勝利も記録も失格になります。

そのルールブックの読み込み不足や読み違いをしてしまうと、問題になりかねません。保険部では、新入会員の先生方には入会后6ヶ月間(6回)の保険取り扱いの説明会を月1回開催し、理解度を高められるように努めております。また、その説明会に既存の会員の先生方にも出席を可能としており、毎月開催案内をしております。その他にも年2回の保険講習会や制度の大きな改正や何か問題が起こったときなどには臨時保険講習会を開催し、また随時個別相談を受け付け、会員の先生方に正しい情報の伝達を迅速に行い、会全体の資質向上を図っております。公益社団の会員の先生方には、保険の知識を正しく理解していただいております。常々、正しい業務をしていただいていることに感謝しております。

すべての柔道整復師がこの仕事を志した原点に戻り、法令を遵守し国民の皆さんに寄り添う柔道整復師として、また国民に信頼され愛される医術としての柔道整復術をさらに理解して頂くことが大切だと思います。そして、先生方の地域の中で柔道整復術を行うのはもちろんのこと、地域包括ケアシステムの一端を担っていくために介護や福祉の知識も必ず必要になってきています。

お互いに日々研鑽して会員の先生方と共に業界の改革をしていければと思っております。

今年も、保険部の事業運営に格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



事業部長 岡田 達也
柔道・伏見地域介護予防推進センター担当

新年あけましておめでとうございます。

知事、市長をはじめ府内各市区町村長の皆様方、各都道府県会長並びに会員の皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えになられました事をお喜び申し上げます。

昨年、大政奉還 150 周年の節目を迎え、歴史の転換舞台となった京都においては様々な催しが開催され多くの来場者でにぎわいました。また、秋には国立京都博物館において実に 41 年ぶりとなる国宝展が開催され、これもまた多くの観覧者で大盛況となりました。奇しくも私が生まれた年に前回が開催されたのでこの機を逃すと次はいつになるか分からないと思い数度足を運びました。時期を同じくして突然の衆議院解散に伴う総選挙になり野党の再編や分裂で混迷を極め、結果につきましては皆様ご承知の通りとなりました。

私がとても気になったのは、知事兼務の代表者が「日本をリセットする。」と言われた言葉です。現在の全ての事において脈々と先人から受け継いだ事を継承しながらも変化や改善を繰

り返し今日があると考えています。我々が業とする柔道整復についても武術としての柔術から「活法」が進化・発展し今日に至るわけです。150 年前の明治新政府になった折には西洋医学の推進により衰退の危機となりましたが、伝統文化を重んじる皆様のご尽力により認められた歴史があります。現在ではエビデンスを重視し、超音波による視覚的判断も多くの先生方が導入し養成学校でもカリキュラムに組み込まれております。伝統医術である整骨術が進化・発展し国民に必要とされる接骨院・整骨院が多く開業しております。

さて、本会の事業部長を拝命し柔道関係、救護関係、介護予防活動、京都府医師会を中心とする京都府医療推進協議会活動を主な業務とし、公益活動を担当しています。「精力善用・自他共栄」の理念を伝える為の少年柔道教室や大会を主催し、超高齢社会を迎える時に地域力を高める目的で地域支援活動や、京都市からの委託事業で伏見地域介護予防推進センターを運営しています。また、各種スポーツ大会における救護隊活動や、京都府との協定により大災害時に対応できるよう定期的な訓練に参加し、各病院の DMAT チームをはじめ看護師・自衛隊・行政関係者等と多職種連携を行っています。

本年も多種多様な活動を行ってまいり所存ではございますが、会員の先生方の協力なくして事業部の公益活動は成しえませんが、広く国民に認知され、行政関係者や各保険者に正しく柔道整復師を理解して頂くためにもより一層のご協力をお願い申し上げます。また、関係機関の皆様方におかれましても歴史ある柔道整復師を正しく理解して頂き、対面施術を行っている我々を地域資源ととらえ、協力体制の構築を切に願います。

新年のご挨拶



経理部長 谷山 和 浩

あけましておめでとうございます。年頭にあたり会員の皆様にご挨拶申し上げます。

長尾淳彦会長の下、本会の執行部の一員として早いものでもう3年が過ぎようとしています。この経験を活かし持続的な発展に取り組んでまいります。

昨年は、会館の売却が無事終わり、新しい会館に向けての区切りの年でもありました。会館の移転により、収支がどのように変化しているか、毎月の理事会で収支報告をしており、今後とも報告していきます。また、府の会計監査にも対応できるよう、公益法人として適切に対応していきます。

日本を取り巻く環境は、アメリカ大統領の政策や北朝鮮のミサイル問題など、不安定な状況ではありますが、京都府柔道整復師会は、安定した運営を行っていきたいと思います。まだまだ手探り状態ではありますが、出来るだけわかりやすい資料作りと数字の見える化を心がけ取り組んでおります。同じ情報を見て全員が同じ

認識ができる様、シンプルでわかりやすい共通の判断基準となる資料作りを心がけています。これにより、数字やグラフが異常の発生を知らせる警報となり、理事の方々の眼力も養われ、理事会での意見も活発になってきたと思います。

最後に、京都府柔道整復師会の果たすべき役割は、コンプライアンスの重要性和危機管理能力の充足を説き、柔道整復師が一致団結し、知識、技術を向上させ、同じ理念で一丸となって信頼される立場で地域医療に取り組んで行く事であると思います。

今年も長尾会長の下、柴田宗宣副会長の指導を受けながら、力の限り尽くす決意でおります。また、役割は違いますが、本会と協同組合が協力し会員と組合員のためになるよう、私は、本会と協同組合の橋渡し役を積極的に努めて行きたいと思っております。

役員・部員・会員の皆様方のご支援をいただいで責務を全うしたいと存じますので、今年も何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



新年のご挨拶



広報部長 中川 稔 貴

あけましておめでとうございます。旧年中は、広報部にご理解とご協力賜り誠にありがとうございました。

新春を迎え、皆様ご家族様にとって輝かしい一年になりますように祈念申し上げます。

去年も、凶悪な連続殺人、北朝鮮のミサイル発射問題、各国でのテロ、豪雨・台風などの天災に心痛めた一年でもありました。そして、アメリカ合衆国が離脱した11か国で環太平洋経済連携協定（TPP）が大筋合意されて施行されようとしています。アメリカとの二国間協定も踏まえて、経済の動向をしっかりと確認して行かねばなりません。そして去年末には「パラダイス文書」が世にでてきました。これは昨年の新年挨拶で取り上げました「パナマ文書」タックスヘイブン（租税回避地）よりも大きな問題を含んでいると言われていました。企業を含めた個人財産の租税回避が、日本国の財政を締め付ける原因の一つと考えられます。早急な世界基準としての対策を期待したところでもあります。

そして私たち柔道整復師にとっても、医療費の増加、国民負担増など、安心して施術する環境が整うのか疑問や不安がつきまっています。今後の情報を正確に理解して今一度、足元

を踏み固める必要があるのではないのでしょうか。

今年度も京都府の補助金を受けて「運動器疾患対応力向上研修事業」を行っています。今年も2月4日(日)、3月18日(日)の2回、京都商工会議所にて講習会が行われます。この講習会は柔道整復師としてのモラルを再認識するとともに今後、柔道整復師として介護分野に参画する道を示す講習でもあります。執行部の一員として、皆様のご理解と参加を、お願いいたします。

広報部活動としましては引き続き、京柔整会報（広報機関誌）や京都府柔道整復師会ホームページにおいて本会の活動や情報を公開して、行政・保険団体・国民に柔道整復師・柔道整復術の周知とご理解をいただく活動を行っております。ホームページにおいてはさらに、本会員と他団体・個人契約者の差別化をする為に、接骨院・管理者の情報を公開しております。「講習会・研修会履歴」においては、一般の方に向けて本会会員先生方の勉強心と保険に関する情報収集の取り組みへの、評価材料を提供しています。さらに会員専用ページでは、各部に関する情報や様式のダウンロードなども提供しています。随時、ホームページの更新をしていますのでご確認下さい。

今後とも情報をお伝えすると共に、会員のお役に立てるように内外に発信して参ります。皆様からの、ご投稿やご意見をお持ちしております。

最後に、好景気と言われている中でも個人消費は淀んでいるように感じています。さらに、高齢化による医療費の高騰などで保険の締め付けなども懸念されます。公益社団法人京都府柔道整復師会が県内全柔道整復師のイニシアティブをもって団結していく事が国民、行政の安心につながるものと考えています。本会執行部の一人として今年も引き続き「柔道整復師の信頼の回復」と「柔道整復師会の質の向上」に向けてなお一層、努力してまいります。皆様のご協力と、ご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしく願いいたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



学術部長 田中弘昭

新年あけましておめでとうございます。

会員諸先生方や御家族の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。旧年中は学術部の活動に多大なるご理解・ご協力を賜りましたことを、厚くお礼申し上げます。

平成29年度定時総会におきまして理事に選任され、長尾淳彦会長より二期目の学術部担当を拝命いたしました。

昨年は激動の一年でした。北朝鮮による核・ミサイル問題、小池劇場、国会解散による総選挙、第4次安倍内閣の発足、天変地異による各地の被害等数えあげればきりがありません。今年には平和で穏やかな年となることを願うのみです。

さて学術部では、柔道整復師の資質向上及び柔道整復学並びに柔道整復術の進歩発展に寄与する事を事業の柱にしておりますので昨年は以下の事業を行いました。8月19日(土)には超音波画像観察装置特別セミナーを、9月24日(日)には第6回京都府柔道整復師会・京都医健

専門学校合同講習会を、さくらい悟良整形外科クリニックリハビリテーション科科长をされている榮崎彰秀先生と同科の原康祐先生に「腱板損傷保存療法の理学療法」という演題で実技も交えてご講演していただきました。参加人数は66名にも及び、講習後のアンケート結果でも講演内容に9割の方が満足されており非常に充実した内容となっております。

10月1日(日)には第42回近畿学術大会和歌山大会、10月29日(日)には第69回京都接骨学会、11月3日(金・祝)・4日(土)には第26回日本柔道整復接骨医学会学術大会が開催されました。日本柔道整復接骨医学会学術大会の3日A会場にてシンポジウムの座長を長尾淳彦会長が務められ、4日C会場にてスポーツ外傷・障害の1ブロックの座長を私が担当させていただきました。

今年度残っている行事と致しましては、1月に超音波セミナーを、3月には第70回京都接骨学会と超音波セミナーを京都商工会議所にて開催する予定です。春の学会は会員発表となります。今回担当していただく支部は中丹支部、北支部、上京支部の3支部で、その中から選出された先生および応募された先生が発表者となります。現在1名の先生がすでにご応募されています。一人でも多くの先生が日頃の研究成果の発表をしていただく事が業界全体のレベルアップにつながると考えますので奮ってご応募頂きすようお願いしております。

最後に、会員の先生方や本会の発展の為、学術部で出来る事は精一杯頑張っていく所存でございます。

今後共、ご指導ご協力の程、宜しく願い申し上げますと共に会員諸先生方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

新年のご挨拶



保険副部長 安本 彰吾

会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は保険部の事業活動におきまして、ご理解ご協力いただきありがとうございます。

この度、保険副部長を務めさせていただきこととなりました城陽支部の安本彰吾です。理事一期目にして、大任を仰せつかり大変、身の引き締まる思いです。

さて昨秋、厚生労働省保険局医療課から発された「柔道整復師の施術に係る療養費の算定基準の実施上の留意事項について」の一部が改正されました。特筆すべきことは、柔整審査会の権限が大幅に強化され、施術管理者に対して照会を行い回答を受けることができるようになったことや、施術録を遅滞なく正確に必要事項を記録することも求められました。また、保険者や柔整審査会が施術管理者に対して、領収証や来院簿などの通院履歴が分かる資料の提示や閲覧を求めることができるようになりました。改めて日々の業務のなかで、見落とししているとこ

ろや、やり残していることがないか今一度確認してください。特に、施術録や帳簿などは、遅滞なく記載することとなりましたので、後日に記載するといったことがないように注意してください。また、今後も保険情勢は常に変化していくと思われま。春季・秋季に開催されております保険講習会において詳しくお伝えしてまいりますので、必ずご出席くださいますようお願いいたします。

ご周知とは思いますが、会員の皆さんの学会や講習会の受講履歴は、本会のホームページに掲載されております。これは、保険者や行政機関・損保会社も閲覧されておられますのでご留意ください。ちなみに、私のところの施術所には、「この受講履歴を見て来ました」とわざわざ遠方から来院された患者さんもおられました。

公益社団法人の会としてやるべきこと、やらなければならないことは多岐に存在しておりますが、そのすべては会員の皆様のご協力がなければ前へ進めることはできません。

最後になりましたが皆さまにとって、業界にとって良い年になるよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくようお願いいたします。



新年のご挨拶



監事 見原 誠

新年明けましておめでとうございます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、役員改選を行い、新しいメンバーとともに新執行部がスタートいたしました。また、長尾淳彦会長が公益法人日本柔道整復師会の理事に就任され、本会はもちろん、我々柔道整復師のために尽力いただいております。

本会の活動といたしましては、関係機関のご協力のもと通年事業および京都府助成金事業を開催いたしました。秋の保険講習会では近畿厚生局京都事務所より講師をお招きし、受領委任の取り扱いについてのご講演を賜り、理解を深めました。

今後、養成校カリキュラムや柔道整復師の保険取り扱いに関する改定など、我々の周り大きく変化しようとしています。本会におきましても、公益社団法人に移行し5年が経とうとしておりますが、会館の移転や事業の見直しなど、さらなる課題が残っております。執行部一同、様々な課題や活動への取り組みに対し、会員の利益や財産が守られるべく、適切な運営となりますよう一層邁進していく所存です。

会員の皆様、関係機関の皆様におかれましては、変わらないご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、昨年10月には前期の監査を終え、本会の業務執行および財務会計において適正に執行されていることをここにご報告させていただき新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



京都府柔道整復師協同組合
理事長 関 弘 美

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては健やかに新たな年をお迎えになられたことと存じます。

また、平素は京都府柔道整復師協同組合事業全般にわたり、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も旧年に倍加して協同組合のご愛顧をお願い申し上げます。

協同組合は、組合員の福利厚生と利益を還元する事を目的として設立されております。現在の主な事業となっております共同購買事業においてはインターネットによる商品販売システムを全国中小企業団体中央会の補助金を利用する事により、他の都道府県の協同組合に先駆けて構築をしています。

インターネット通販を利用する事により商品の購入金額に応じてポイントが加算され商品の購入時時に使用を出来るだけでなく、協同組合が主催する講習会等のイベントに参加する事によってもポイントが加算され、その溜まったポイントを今後の協同組合主催イベントでも使用する事が出来る様になっております。

また、協同組合に未参入の業者が新たに組合員の紹介で指定業者に参入された時は紹介して頂いた組合員にポイントが加算される制度の採用もしています。

ご存じのように指定業者は物品販売だけでは

なく生命保険・損害保険・印刷業・サービス業・建設建築業・医療器械販売などの多岐に渡っておりますので、現在組合員の先生方が利用されておられる業者様がおられましたら是非協同組合にご紹介下さい。

レセプト用紙の取扱いにつきましては、京都府柔道整復師会執行部の先生方にご理解をいただきまして、協同組合独自で作成から販売まで組合事業としてできるようになりました。今まで以上に上質で安価な用紙の提供が出来るよう努めてまいります。

鍼灸レセプト請求業務に伴い鍼灸部を発足させ自主審査会を開催して支払業務が円滑に遂行するような組織作りをしておりますが、各組合員の個別請求問題は幾つか発生しているものの、協同組合の請求自体に大きな障害になる事は無く推移しております。鍼灸の保険請求は医師の同意書が必要となりますが、業務の多様化と云う意味でも鍼灸を保険請求する事を一考して頂ければ幸いです。取扱い手数料も業界最低の2.5%となっており、すでに他の団体から請求されておられる先生方も協同組合からの請求をすれば請求費用の節減が出来ると思っております。

また、近畿柔道整復師協同組合連合会（兵庫・京都・和歌山・奈良・滋賀）が互いに連携し合い新商品を扱う業者の選定や恒例の年末に、みかんや牡蠣の格安販売などもしています。

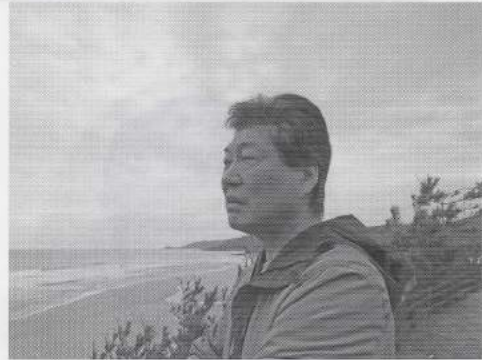
近年の組合員の収入減は当然ながら協同組合の収入減にも繋がります。新しい企画として年末には連合会同様に京都中央卸売場の業者から市場価格より安く新鮮な魚介類の販売も開始しており、年明けに精肉の販売など新商品の販売も考えています。

組合員の先生方は法的に許容された仕事は何事も前向きに対応を考える必要があります。たとえば介護の事業に参加するのであればケアマネジャーの資格を取得したり、既に持っている鍼灸の資格を利用したり、その場で誇りある能力を大いに発揮することが出来ると思います。

今年も組合執行部及び事務局一同、皆様のために頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。最後に、今年協同組合は役員改選期であります。商才と活動意欲のある組合員はぜひ立候補をお願いいたします。

本会最北端、最西端の接骨院

今回の会員インタビューは北丹支部の久保清嗣会員です。久保会員は京丹後市網野町で開業されています。京都市内の事務所から最も遠方と思われる地域です。Google mapで所要時間を調べてみると電車で3時間30分～4時間、自動車で2時間～2時間30分程度のようなようです。しかし、これも待ち時間や渋滞によってかなり変わるとおられます。それでは、お話を伺ってみることにしましょう。



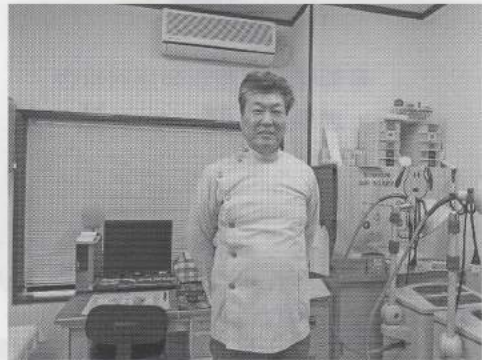
琴引浜にて

○生年月日、血液型、出身地、家族構成を教えてください。

昭和31年4月15日生れのA型です。網野町出身、家族は息子と2人です。

○卒業された養成校と卒業年次、開業年、開業までの経緯を簡単に教えてください。

昭和52年3月、明治東洋医学院（明治鍼灸柔道整復専門学校）柔道整復学科卒業、半年後に鍼灸学科を卒業し、兵庫県豊岡市の安連接骨院でお世話になって研修を積み、昭和58年に本会入会、開業しました。



施術室にて

○柔整師を志したきっかけを教えてください。

叔父が豊岡市で接骨院を開業しており、その叔父にすすめられて柔道整復師になることを決めました。

○座右の銘、信条を教えてください。

座右の銘はありませんが好きなことわざはあります。「禍福は糾^{あざな}える縄の如し」ということわざです。意味は幸福と不幸は表裏一体で、たとえ今つらくてもそれが幸せに変わるから今を耐えろ。もし、今が幸せなら調子に乗るな。そんな意味です。そう思って生きています。

○趣味・特技・好きなものを教えてください。

趣味は読書です。京極夏彦や宮部みゆきの小説が好きです。特技は特にありません。酒を飲むのは好きです。ビール、芋焼酎、ウイスキーが好きです。

○来院者の年齢構成や地域分布を教えてください。

患者さんの年齢は60代～70代が多く、地元、京丹後市の網野町、丹後町の人が多いです。



冬の味覚の王者 松葉ガニ

○網野という地域について教えてください。

生まれ育った町は誰でも好きだと思うのですが、私

もその例に漏れず生まれ育った網野町が大好きです。海の物も山の物も食べ物は美味しいものが色々あります。冬場の松葉ガニ（ズワイガニ）が有名ですが、当地では丹後町・間人漁港^{たいぎ}で水揚げされる松葉ガニは「間人ガニ」と呼び、品質・味ともに最高級と言われています。丹後産コシヒカリ、砂丘メロンもおいしいです。また、地元で多くの人に親しまれている郷土寿司として「丹後ばら寿司」があります。

鳴き砂で有名な琴引浜ではとってもきれいな夕日が見られます。源義経の側室として波乱の生涯を送った静御前は二十余歳で短い生涯を閉じた人ですが、京丹後市網野町磯地区で禅師（高德な僧侶）の娘として生まれたとされており、近くには静神社があります。海が一望できる生誕の地には記念碑も建てられています。網野町八丁浜の西端、浅茂川漁港に隣接する小さな丘には浦島太郎を祀った嶋児神社があります。

このような美味しいものが沢山ある風光明媚な土地なのですが、この地域も多くの地方の村と同じように過疎化の波が押し寄せています。限界集落（過疎化などで人口の50%以上が65歳以上の高齢者になって冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になっている集落）もいくつかあり、故郷に帰って来たい若者がいても仕事がなく帰ってこれない状況です。

○降雪が多いと思いますがやはり大変なのでしょうね。駐車場の雪かきは大変です。あと、毎月1時間半かけてレセプトを舞鶴の支部長のところまで持って行くのですが雪が降ると大変です。往復で5時間かかったことがあります。

○本会最北端、最西端の施術所ということで会員に向けて何かコメントを下さい。

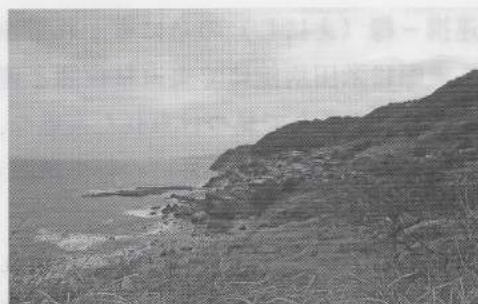
私の所が本会から一番遠い施術所になるようですが、今は京都縦貫自動車道などができて昔よりずいぶん近くなりました。それでもお昼休みにちょっと会まで、という訳には行きません。京都市内の会員の皆さんがうらやましくなる時もあります。でも網野町には素敵な自然と美味しいものがあります。ぜひ網野町に海水浴、魚釣り、カニを食べになど来てください。

○久保会員、どうもありがとうございました。

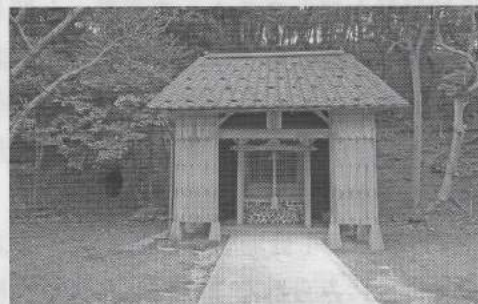
インタビュー取材にあたり、久保会員をはじめ、北丹支部の諸先生方に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。（広報部 安田優二）



浦島太郎を祀る嶋児神社



静御前が生まれ育ったとされる京丹後市網野町磯地区



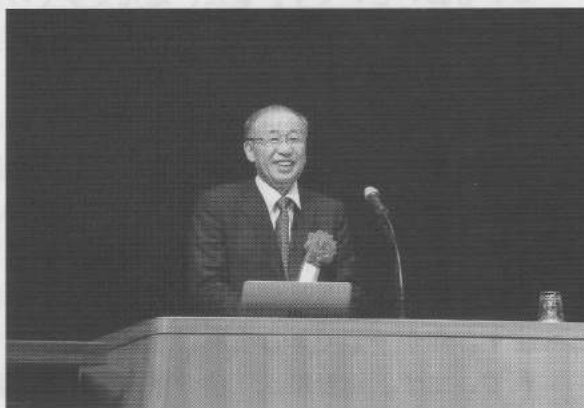
静御前ゆかりの静神社



接骨院の前で

第42回近畿学術大会和歌山大会

平成29年10月1日(日)午前10時30分より和歌山県民文化会館において近畿学術大会和歌山大会が開催されました。1階大ホールを第Ⅰ会場とし、開会式の後、11時10分より特別講演が開始されました。米田實先生(学校法人米田学園 米田柔整専門学校 学長 医療法人米田病院 理事長・院長)より「私の医接連携-縁(えにし)の糸に導かれて40年」と題し、実際に米田病院にて柔道整復師と連携して、精密検査をすることで見つけられた疾患や、アキレス腱断裂の保存療法の有効性について講演していただきました。



特別講演 米田實先生

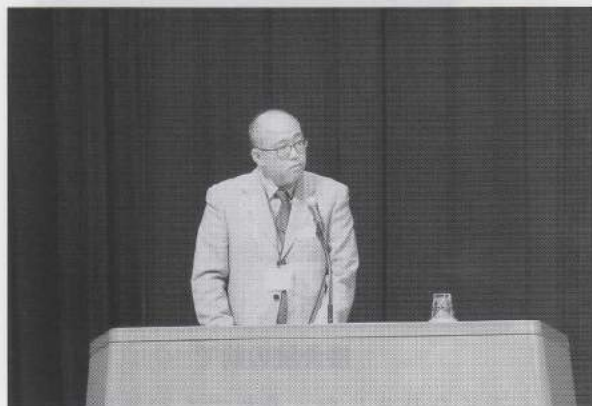
12時40分より介護保険活動報告が行われました。

(公社)日本柔道整復師会保険部介護対策課より「2017・柔道整復師と介護保険について-柔道整復

師の地域包括ケアシステムへの貢献-と題し、柔道整復師がいかに地域包括ケアシステムの中で活動できるか、制度をもとに事例を提示しながら講演いただきました。

13時25分より山田直樹先生(日本超音波骨軟組織学会 会長)により「超音波画像診断装置を自在に操る時代へ part2 ~肩関節編~」と題し、超音波の基本的な性能、操作方法、画像の見方、肩関節の実際の撮影方法等を講演いただきました。

14時35分から第Ⅰ会場では9名の会員による学術発表が行われ、京都からは服部博幸会員より「橈骨遠位端骨折後にみられた1症例」と題し、橈骨遠位端骨折に伴う長母指伸筋腱断の症例報告をされました。また、菅原不二雄会員より「大腿骨骨幹部骨折による膝関節拘縮」と題し、高齢女性が受傷した大腿骨骨幹部骨折後の膝関節拘縮の後療の症例報告をされました。



発表 服部博幸会員



発表 菅原不二雄会員

同時刻第Ⅱ会場では、養成校ポスタープレゼンテーションが行われ、本会 吉舎定良学術部員が座長を務めました。京都からは京都医健専門学校と明治国際医療大学がポスター発表を行いました。同時刻第Ⅲ会場では近畿超音波画像観察小委員会による超音波の実技と活動指針報告会が行われました。

1階には終日県民ブースを設け、我々柔道整復師は何を業としているのか、その歴史、現代の施術方法、療養費の取り扱いについて等、普及啓発活動が行われました。また、医療機器展示も行われ、最新の物理療法機器が並び、各ブースでデモ体験等を行う風景が見られました。



座長 吉舎定良会員

参加者数は会員 354 名、一般 14 名、学生 299 名の計 667 名でした。

16 時 45 分より閉会式が行われ、発表者に対する表彰が行われました。学術功労者に対する表彰で本会からは岡本玄剛会員が表彰されました。最後に閉会のあいさつが行われ、第 42 回近畿学術大会和歌山大会は終了しました。

(広報部 森田康裕)



学術功労者表彰



長尾会長と表彰者

お知らせ

運動器疾患対応力向上研修事業開催

(京都府医療従事者質の向上事業)

日時 第 2 回目 平成30年 2 月 4 日 (日) 受付13:00 開会13:30

第 3 回目 平成30年 3 月 18 日 (日) 受付12:30 開会13:30

場所 京都商工会議所 3 階「講堂」

修了証授与

修了証は第 1 回目 (平成 29 年 10 月 29 日) を出席し、第 2 回目と第 3 回目のすべて出席される事により授与されます。

京都府医療推進協議会 府民向けイベント

京都・健康と福祉のひろば

「あらためて考えよう 国民皆保険制度

～失うとこんなに変わる私たちの未来～」

平成 29 年 10 月 1 日(日)京都・健康と福祉のひろば「あらためて考えよう 国民皆保険制度 ～失うとこんなに変わる私たちの未来～」イベントが行われました。

午前 10 時開場し一般社団法人京都府医師会 松井道宣会長の挨拶にて始まり、21 の医療関係団体が各ブースにてイベントを行い、各々の専門分野に関連したサービスが提供されました。京都府柔道整復師会は握力、体前屈、身長測定を行い沢山の方にお越しいただきました。他にも軽食のブースもあり、各ブースとも賑わっていました。ステージイベントは、理学療法士会、京都府薬剤師会、京都府鍼灸師会、京都府作業療法士会の 4 団体が行い、沢山の来場者が観覧されていました。午前 11 時と午後 2 時半の 2 回に分けてアンパンマンショーが行われ、お子様連れの方が多数観覧して会場は大盛況でした。

今回のメインの「国民皆保険制度 ～失うとこんなに変わる私たちの未来」シンポジウムは 3 名のシンポジスト、京都府医師会副会長 濱島高志氏、がん患者サロンうずら世話人 斎藤嘉夫氏、認知症の人と家族の会京都府支部代表 荒牧敦子氏と司会の京都府医師会理事 米林功二氏とで進行されました。

そして、聴覚障害の方も分かるように手話の方が壇上にあがり通訳もされていました。



京都府医師会 松井道宣会長

- ・今の保険制度がある事のあり難さ
- ・副作用が酷い延命処置は必要なのか
- ・混合診療の難しさについて
- ・認知症に効果のある薬はないのに処方される
- ・治療結果が変わらない意味のない検査
- ・死ぬことがわかっているのに行われる検査
- ・病院経営が優先の医療になっているのではないかと
- ・良くならないのに長生きすることが必要なのか
- ・抗がん剤は効果が薄いという現実

などといった現在の医療のあり方に対する問題点のお話をされました。

これらの事は、今ある国民皆保険制度を維持する為にも、今後も真剣に考えていかないといけないテーマだと思います。1人1人がこういった認識をもつことで良い方向に変わっていくのではと思いました。イベントの最後はお楽しみ抽選会が行われ午後 4 時に終了しました。当日、活動された事業部をはじめお手伝いをされた先生方お疲れ様でした。

(広報部 梅谷慎二)



シンポジウム



ブース内写真



京都府柔道整復師会イベントスタッフ

厚生労働大臣旗争奪

第41回 日整全国柔道大会

文部科学大臣杯争奪

第26回 日整全国少年柔道大会

文部科学大臣杯争奪

第7回 日整全国少年柔道形競技会

平成 29 年 10 月 8 日(日)、東京都文京区の講道館において公益財団法人日本柔道整復師会主催による標記大会が開催されました。午前 8 時 30 分より 7 階、大道場にて少年柔道大会、開会式が始まりました。全国から 48 チーム(東京は 2 チーム)の



開会式



選手宣誓

精鋭選手が整列、開会前の拝礼、国歌斉唱、萩原正和副会長より開会宣言があり工藤鉄男会長より挨拶が行われ、その後、下記の来賓よりご祝辞を賜りました。

- ① 厚生労働大臣 加藤勝信 様
- ② 環境大臣 中川雅治 様
- ③ 前東京オリンピック・パラリンピック担当大臣 自由民主党参議院議員 丸川珠代 様
- ④ 文部科学事務次官 戸谷一夫 様
- ⑤ 産経新聞社 広報室長 村雲克典 様

次に来賓紹介、祝電披露、優勝杯等返還が行われ、講道館指導部 鮫島元成審判長より試合上の注意があり、千葉県代表の中野心太選手より選手宣誓が元気よく行われ開会式は終了し、4 試合場にわかれて団体トーナメント戦が開始されました。全国の強豪がしのぎを削る戦いを繰り広げる中、我が京都府少年チームは健闘し、1 回戦で山梨県に勝利し、2 回戦では 5 人中 4 人が一本勝ちを修めるとい素晴らしい試合内容で福島県を制しましたが、残念ながら 3 回戦で広島県に敗れました。



試合を見守るコーチ陣と選手



少年京都チームの試合風景

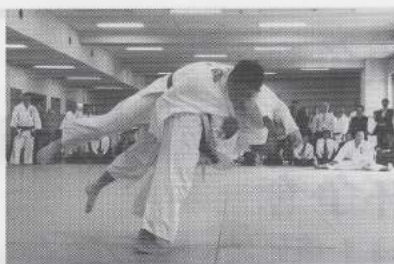
少年柔道大会 京都府チーム			
監督 岡田達也			
氏名	学年	所属	
先鋒 西村和真	4	宇治柔道会	
次鋒 小松優真	5	宇治柔道会	
中堅 城本憲生	5	東方館道場	
副将 福田銀次	6	八幡柔道クラブ	
大将 石原求道	6	東方館道場	

少年柔道大会 京都チーム 1 戦目 (勝ち)					
先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
西村	小松	城本	福田	石原	
有効		一本	技有		
足弘		体落	繰四方固		
○	引分	○	○	○	
				大外刈	
				一本	
渡邊翔	広瀬	渡邊	小澤	柏木	
先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	

少年柔道大会 京都チーム 2 戦目 (勝ち)					
先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
西村	小松	城本	福田	石原	
一本	一本	一本	一本		
内股	横四方固	袈裟固	内股		
○	○	○	○	○	
				袈裟固	
				一本	
高木	大竹	我妻	熊田	吉田	
先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	

少年柔道大会 京都チーム 3 戦目 (敗退)					
先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
西村	小松	城本	福田	石原	
技有					
内股					
○	引分	引分	○	○	
				横四方固	
				払巻込	
坂本	三河内	中祖	木原	阿河	
先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	

少年柔道大会の進行と並行して午後12時30分より会員柔道大会開会式が6階道場にて行われました。開会前の拝礼、日本柔道整復師会 工藤鉄男会長による挨拶、産経新聞社 村雲克典広報室長による来賓挨拶と続き、優勝杯等返還、出場証が選手代表の高知県 茂木春樹会員に授与



近畿チーム第1試合
ガンバートル・フデレムンフ選手



決勝戦で内股を決める
湊谷知幹選手

されました。開会式が終了後、1回戦が開始されました。準々決勝（2回戦）からは7階大道場に場を移し続行されました。各地域の代表による熱戦が繰り広げられる中、近畿チームは大いに健闘し、決勝まで駒を進めました。決勝戦では声援が飛び交う中、大将戦で勝敗が決まるという場面でしたが相手

チームの技が決まり、近畿チームは惜しくも敗退となりました。

この試合で近畿チームの大將、木村友慈選手が下肢を負傷されるというアクシデントがあり心配されましたが、健闘を称えたいと思います。少年柔道形競技会は午後1時10分より開始されましたが今年度は京都府からの出場はありませんでした。

全国柔道大会近畿チーム				
監督 谷口祐次				
先鋒	ガンバートル・フデレムンフ	20代	京都府	
次鋒	磯田和伸	30代	兵庫県	
中堅	亀野真吾	30代	兵庫県	
副将	湊谷知幹	40代	京都府	
大将	木村友慈	50代	奈良県	

日整全国柔道大会 近畿チーム 1戦目 (勝ち)					
近畿	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
		ガンバートル	磯田	亀野	湊谷
	一本				
	袖釣込腰				
	○	引分	引分	○	○
北関東					払腰
				反則負け	一本
	刈屋	倉井	菅野	嶋村	小椋
	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将

日整全国柔道大会 近畿チーム 2戦目 (勝ち)					
近畿	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
		ガンバートル	磯田	亀野	湊谷
	一本	技有		技有	一本
	袖釣込腰	背負投		払腰	小外掛
	○	⊖	○	⊖	○
北信越西部			内股		
			一本		
	窪田	田中	城實	川口	北浦
	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将

日整全国柔道大会 近畿チーム 3戦目 準決勝 (勝ち)					
近畿	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
		ガンバートル	磯田	亀野	湊谷
	一本				一本
	小外掛				内股
	○	引分	引分	引分	○
九州					
	井本	松田	馬場	檜山	安東
	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将

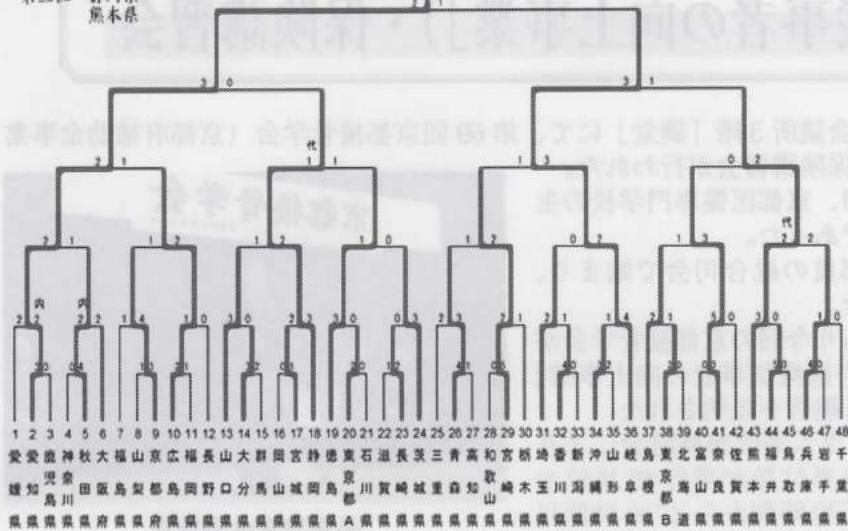
日整全国柔道大会 近畿チーム 4戦目 決勝 (敗退)					
近畿	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
		ガンバートル	磯田	亀野	湊谷
				一本	
				内股	
	引分	引分	○	○	○
南関東B			背負落		一本背負
			一本		一本
	横尾	軽部	坂本	清水	富吉
	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将

第26回日整全国少年柔道大会試合結果

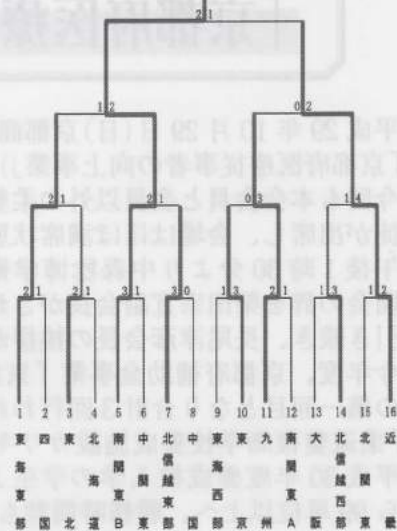
第41回日整全国柔道大会試合結果

優勝 愛知県
準優勝 岐阜県
3位 静岡県
熊本県

優勝 愛知県



優勝 南関東B



文部科学大臣杯争奪 第26回日整全国少年柔道大会

優勝 愛知県 敢闘賞 広島県 フェアプレー賞 愛媛県
準優勝 岐阜県 徳島県 宮城県
3位 静岡県 宮崎県 山形県
熊本県 奈良県 岩手県

優秀選手賞 富田 猛 瑞 (愛知県)
名郷 楓 馬 (愛知県)
鈴木 魁 人 (岐阜県)
冲山 智 (静岡県)
東家 龍 樹 (熊本県)

文部科学大臣杯争奪 第7回日整全国少年柔道形競技会

優勝 青森県 3位 岡山県
準優勝 北海道A 4位 三重県

厚生労働大臣旗争奪 第41回日整全国柔道大会

優勝 南関東B 優秀選手賞 富吉 司 (南関東B)
準優勝 近畿 坂本 周 作 (南関東B)
3位 東海東部 漆谷 知 幹 (近畿)
九州 石黒 貴 彦 (東海東部)
檜山 尚 浩 (九州)



近畿チーム表彰



少年・京都チーム



近畿チームと関係者

当日は快晴に恵まれ、暑くなりましたが、秋らしい爽やかさもある良い日でした。東京都文京区の講道館では後楽園も隣接しており、連休ということもあって多くの人が行き交っておられました。本大会には本会より近畿チームとして湊谷知幹会員、ガンバートル・フデレムンフ会員が選手として出場された他、少年柔道大会京都府チームの監督として岡田達也事業部長、コーチとして兼田旭紘事業部員、大会参与として長尾淳彦会長、参与として栗原壽雄顧問、審判員として竹村尚記会員などの面々が参加されておられました。頑張った少年選手たち、会員の選手の方々、全国より応援に駆け付けられた皆様、大会関係者の皆様、大変お疲れ様でした。



講道館外景

(廣報部 安田優二)

(廣報部 安田優二)

第69回京都接骨学会（京都府補助金事業 「京都府医療従事者の向上事業」）・保険講習会

平成29年10月29日(日)京都商工会議所3階「講堂」にて、第69回京都接骨学会（京都府補助金事業「京都府医療従事者の向上事業」）・保険講習会が行われた。

今回も本会会員と会員以外の柔整師、京都医健専門学校生徒が出席し、会場はほぼ満席状態であった。

午後1時30分より中森稔博学術部員の総合司会で始まり、開会の辞を柴田宗宣副会長がされた。

引き続き、長尾淳彦会長の挨拶があり今回の京都接骨学会が今年度、京都府補助金事業「京都府医療従事者の向上事業」の第一回目となり合計3回行われる趣旨を説明された。

「柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会により平成30年度養成校入学の学生より単位数が現行85単位から99単位以上へ、履修時間数も1,530時間から2,750時間以上として、それぞれの単位・時間数の設定が拡大する事などが実施されます。この条件で卒業・免許を得た者と、現柔道整復師も同じ土俵で施術を行う事となります。今回は近畿圏で初めて近畿厚生局の方がご講義下さいます。そして前半は三谷先生による、介護保険制度が導入されてから柔道整復師がいかんして関わって来たのかのお話と、今後行われる総合事業についてのシミュレーションをお話してもらいます。今回と、平成30年2月4日、平成30年3月18日、合わせて3回の補助金事業を通してしっかりと勉強することを期待しています。公益社団法人京都府柔道整復師会は単なる保険請求団体とは違い、国民の健康福祉に寄与する団体です。柔道整復師としての資質の向上を目指しての研修会・講習会を行っています。皆様のご理解を頂きたい。」と話された。

接骨学会となり、講師に公益社団法人日本柔道整復師会 特別諮問委員、有限会社ケア・ネット代表取締役 三谷 誉先生より「地域の医療・介護・福祉における柔道整復師の役割」と題してご講演があった。柔道整復師として、いかんして介護事業に関わっていくのか、接骨院が地域の医療と連携して行く事の重要性などをご講義いただいた。

そして、安本彰吾保険副部長の司会にて保険講習会が行われた。中村英弘保険部長により、近畿厚生局京都事務所指導課長 吉森茂文様、京都府健康福祉部医療保険政策課主査 相坂義明様、近畿厚生局京都事務所医療指導監視監査官 井上喜代彦様の講師紹介が行われた。

その後「受領委任の取扱いの理解のために」と題してご講演を頂いた。内容は1. わが国の医療保険制度 2. 受領委任制度の概要 3. 療養費請求に関する留意事項 4. 指導監査についてであった。



ご講演 左より吉森様、相坂様、井上様

我々柔道整復師として必ず知っていなければならない内容で、再認識と気づきを得られた内容であった。

最後に中村英弘保険部長より講演中に説明があった、施術録の記述と保存の大切さを説明され一部負担金、領収書の発行、広告・表示等、確認のお願いがあり第69回京都接骨学会・保険講習会は終了となった。

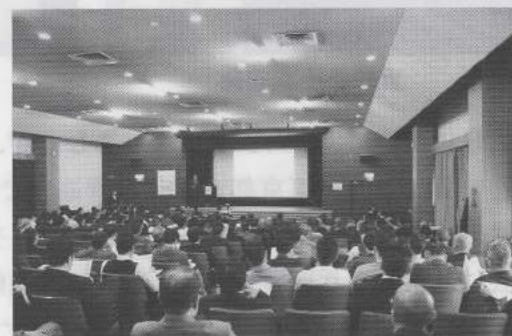
(広報部 中川稔貴)



長尾淳彦会長挨拶



ご講義 三谷 誉先生



会場風景

第26回日本柔道整復接骨医学会 「地域のゲートキーパーとしての柔道整復師」

平成 29 年 11 月 3 日(金・祝)、4 日(土)の二日間に渡り、大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)にて第 26 回日本接骨医学会が行われました。一日目は午前 9 時 30 分より受付が始まり、午前 10 時 30 分から、各会場での発表が行われました。業者販売、フォーラム、口頭発表会、ポスター発表、シンポジウム、特別講演等が各会場で行われ、会場は多数の参加者と学生で賑わっていました。

公益社団法人京都府柔道整復師会から長尾淳彦会長がシンポジウムの座長として登壇され、柔道整復師の教育についてのお話をされました。

明治国際医療大学 保険医療学部 林 知也 先生

柔道整復師大学認可までの道筋 (柔道整復師の大学設立することの難しさについて)

公益社団法人大阪府柔道整復師会専門学校 徳山健司 先生

4 年生専門学校教育について - 国民の信頼と期待に応えるには柔整教育は最低でも 4 年制の新時代へ - (現状よりもっと高い知識を学べる専門学校の必要性について)

東京有明医療大学保険医療学部柔道整復学科 成瀬秀夫 先生

柔道整復学博士課程の教育について (柔道整復師の学位取得について)

帝京平成大学ヒューマンケア学部柔道整復学科 樽本修和 先生

帝京大学グループの教育について (柔道整復師を目指す学生が大学に行って学ぶ理由について)

以上、4 名の先生方にお話いただきました。

皆様のお話からも三年間での教育ではなく、より高度な知識をもった柔道整復師を輩出する為にも現在よりも高いレベルでの教育・教養が必要であるという業界全体の流れになっている気がします。一般市民や保険者からみた業界全体の信頼回復、安心感をもっていただく為には必要な事かもしれないと感じました。

午後 3 時からは同会場にて、一般社団法人日本柔道整復接骨医学会 櫻井康司先生が座長にて進行された、特別講演「新しい運動生理学 - スポーツケアを中心に -」の講演を札幌医科大学医学部医学部細胞生理学講師の當瀬規嗣先生にご講演いただきました。生理学から見た疲労回復についての講義をされました。一般的に疲労物質と呼ばれる乳酸に関する事や、どういったことが早期の疲労回復に繋がるかを解説していただきました。

講義は午後 4 時 30 分まで行われ、他の各会場ともに一日目は終了しました。

二日目は午前 9 時より受付が開始され、午前 10 時より各会場での発表が行われました。午前 12 時から 1 時間の休憩を挟み午後 1 時より各会場での発表が行われ、午後 2 時から午後 2 時 30 分まで、C 会場にて公益社団法人京都府柔道整復師会から田中弘昭学術部長が座長を務めスポーツ外傷・障害の口頭発表を担当されました。

- ・静的ストレッチとキネシオロジーテープが足関節可動域に与える影響 (くにとも鍼灸整骨院 伊藤拓巳 先生)
- ・前十字靭帯損傷に対する保存療法 (栗原整形外科 香取慎治 先生)
- ・超音波画像診断装置を用い高齢スポーツ競技者の下腿筋損傷治癒過程観察の一例 (さいたま柔整専門学校 賀長佐織 先生)

以上三名の発表進行を務められました。そして、午後 4 時まで各会場での発表が終了しました。

各会場、素晴らしい発表が沢山行われ、皆様にとって有意義な二日間となったことと思います。関係者の皆様お疲れ様でした。

(広報部 梅谷慎二)



シンポジウム風景



座長 長尾淳彦会長



座長 田中弘昭学術部長

第29回市民スポーツフェスティバル 救護活動報告

平成29年11月3日(火・祝)青空広がる秋晴れの中、西京極総合運動公園にて第29回市民スポーツフェスティバルが行われました。京都市からの派遣要請に本会より救急救護隊を派遣しました。

午前9時より開会式が行われ、林啓史副会長が来賓として参列しました。

開会式後、陸上競技場、ハンナリーズアリーナ、わかさスタジアム京都に分かれ、それぞれリレーカーニバルとジョギング大会、ソフトバレーボール大会、ソフトボール大会が行われました。陸上競技場には兼田旭紘隊員、矢頭崇隊員、中村賢治隊員が、ハンナリーズアリーナには伊藤高基隊員と大西寛美隊員が、わかさスタジアム京都には加藤吉一隊員と久保井康二隊員が救護にあたりました。

陸上競技場では大腿部挫傷1名、下腿部挫傷2名、右足関節捻挫1名、右肘部打撲・顔面鼻部打撲1名、両膝擦過傷1名の応急手当を、ハンナリーズアリーナでは足関節捻挫2名、下腿部挫傷1名の応急手当を行いました。わかさスタジアム京都では負傷者は出ませんでした。

今回の救護活動では、午前中の中の入場行進後、来賓あいさつの途中で80歳代の男性がふらついて倒れられ、担架で場外に運び、救急搬送を行いました。また、観客席の階段から転倒した60代女性の橈骨遠位端骨折に対してシーネ固定の応急手当を行い、救急搬送を行うなど、救急車の要請を2回行いました。ソフトボール大会壮年の部では本会 太田雅巳会員(右京支部)が西京極チームの6番ショートで先発出場され、みごと優勝されました。

午後4時からの閉会式を見届け、無事に救護活動を終わりました。

(広報部 森田康裕)



林啓史副会長と救護隊メンバー



手当をする中村賢治隊員と記録する矢頭崇隊員



担架搬送をする兼田旭紘隊員

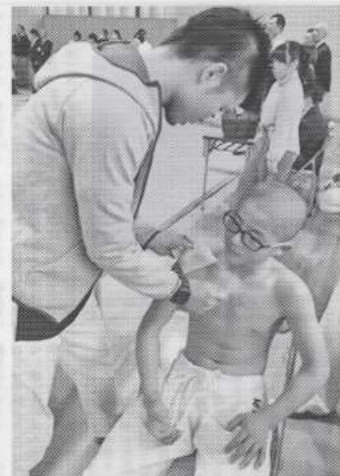


ソフトボール大会壮年の部で優勝された太田雅巳会員

第50回松谷杯柔道大会

第五分隊 河原 巧

平成 29 年 11 月 12 日(日)午前 9 時 30 分から舞鶴文化公園体育館柔道場にて「第 50 回松谷杯柔道大会」が行われました。本会より貞岡辰夫隊員、河原巧隊員が救護活動にあたりました。今大会は 50 周年記念大会という事で参加者が例年よりも多く、京都市内の方からの参加もありました。約 300 人の選手たちが日頃つちかった技を全力で出し切り、白熱した試合を



救護活動中の河原隊員



河原隊員と貞岡隊員

観戦することが出来ました。

大会中の負傷者は、肩関節捻挫が 2 名、膝関節捻挫が 2 名、足関節捻挫が 2 名あり、それぞれアイシングや包帯、テーピング固定等を施しました。

その後、大きな負傷者もなく無事大会を見届け救護活動を終了しました。

会員投稿

フランス・オクシタニ州、オクシタニ柔道クラブと交流

伏見支部 近藤 桂市

引率者：指導者 4 名

選手：高校生男子 6 名・女子 2 名

行程：平成 29 年 10 月 19 日～ 11 月 6 日、神戸に滞在され、甲南大学と兵庫県淡路島の柳学園高等学校と交流

平成 29 年 11 月 1 日に「納所柔道クラブ」と合同練習

納所柔道クラブでは、道場生の木村さんの通訳で、小学生女子による投げの形、近藤桂市七段・長井隆尚六段による古式の形を披露しました。引き続き合同練習をして、オクシタニ柔道クラブと友好を深めました。



コラム ニワトコ (接骨木) について

第1号 京柔整会報 昭和49年7月15日発行

接骨院巡り



久家接骨院
京都市南区大宮通り九条上九条東門前

発行にあたって

中村治一郎
この度、理事片川先生が二月第三〇号まで、翌編委を担任して「京柔整会報」第一号が発行されたことになったのは、誠に喜ばしい限りであります。今後は、年々むすびの内外の動向と云つてはおかしの表現でありますが、以前御が昭和二十九年二月に理事長の

発行所及編集局
社団法人京柔整会
京都府京都市中京区西ノ京
京都府接骨院会館内
(非売品)

発行所及編集局
社団法人京柔整会
京都府京都市中京区西ノ京
京都府接骨院会館内
(非売品)

この度、理事片川先生が二月第三〇号まで、翌編委を担任して「京柔整会報」第一号が発行されたことになったのは、誠に喜ばしい限りであります。今後は、年々むすびの内外の動向と云つてはおかしの表現でありますが、以前御が昭和二十九年二月に理事長の

発行所及編集局
社団法人京柔整会
京都府京都市中京区西ノ京
京都府接骨院会館内
(非売品)

本会の京柔整会報は今号で146号を数える。現在の発刊はA4サイズで年間4冊であるが創刊時は違っていた。創刊号は昭和49年7月15日発行B5サイズで4面(ページ)というものであった。毎月発刊で理事会だより、支部だより、お知らせ、会員の動静、等々の内容であった。それ以前は「柔整会速報」として昭和29年2月~31年12月(30号)まで存続し、昭和32年1月から題名を「にわとこ」に変えて発刊されていたが昭和39年に京都市中京区西ノ京に本会会館が建造されて事務局が移されて後、「会報」としては途絶えていたとのことである。以上のことは本会保存の京柔整会報第1号(昭和49年7月発行)に7代会長、中村治一郎氏の執筆により掲載されていた。ニワトコは接骨木(または庭常、庭床)と書くが骨折治療の効能があるところからその名がついたと想像できる。そのようなことから長尾淳彦会長の要請もあってニワトコについて取り上げるようになった。

◎概要

ニワトコ(接骨木、庭常、庭床)はスイカズラ科ニワトコ属の落葉低木である。樹形は下部からよく分岐し、主幹は作らないのが普通で、枝はしばしば放物線状に下向きに湾曲する。樹高は2~6m程度、花期は3~5月で通常、黄白色の小さい花を多数付ける。果実

は赤く6~8月に熟す。本州、四国、九州の山野に自生する。類似種にソクズ(クサニワトコ)、エゾニワトコ、オオニワトコなどがある。海外でもアメリカニワトコ、セイヨウニワトコ、コウライニワトコなどがある。



ニワトコの葉



ニワトコの花



ニワトコの実

◎語源・歴史

ニワトコは古名「ミヤツコギ(造木)」「和名抄」から来ているとされている。「接骨木」は「漢名」で日本語読みして「セッコツボク」が別名になっている。この木を黒焼したもの、あるいは枝を煮詰めてアメ状にしたものを骨折の患部に湿布して治療したことから来ている。古事記に現れる「山多豆(やまたづ)」はミヤツコギ(造木)であるとされている。万葉集にも「山たづ」で詠まれている。「君が行き日長くなりぬ山たづの迎へを往かむ待つには待たじ」衣通王(そとほしのおほきみ) 山たづは「迎え」の枕詞だそうで、君を迎えに行きたい気持ちを歌っている。他に「神を迎える木」という意味もあると

のこと。平安時代中期の辞書「倭名類聚鈔」には「接骨木『和名 美夜都古木（みやつこぎ）』』として掲載されている。江戸時代の薬物書「本草綱目啓蒙」にも「接骨木」として「タヅノキ」や「ニワトコ」の名が掲載されている。また貝原益軒による「大和本草」にもその名が出てくる。

◎利用法

1. 鎮痛、消炎、止血、利尿薬として使う。骨折、脱臼、捻挫、打撲、挫傷、水腫腎炎、関節リウマチ、痛風、咽喉痛などの諸痛に湿布薬や入浴剤として茎、葉、根などを用いる。夜尿症や便秘などにも煎じるなどして飲用する。
2. 海外のセイヨウニワトコから採れる実はエルダーベリーといい、健康食品やワインの材料にもなる。花は解熱薬として使用される。
3. 食用として若葉を使うこともあるが中毒例もあるとされる。果実酒の材料にもされる。
4. 古来魔除けとして幹を薄く削って削花（けずりばな）を作り、祭儀に供えた。現代でも削花を小正月に飾る風習がある地域がある。また、新築するときには庭先に祭壇（床）を作り削花を飾り神事を行ったという。そのことから庭床という名が来ているとの説もある。その他、アイヌの神事などに用いられてきた。



西洋ニワトコの実
（ブラックエルダーベリー）

◎整骨散

1970年～1980年代（正確には不明）、明治鍼灸柔道整復専門学校で骨折治療をはじめとする柔道整復術の達人、小西賢蔵先生が臨床講義を担当されていた。当時、骨折、脱臼、捻挫、打撲等の消炎剤として整骨散の成分、使用法などの解説をされていた。調合した整骨散を和紙に塗り伸ばし、患部に貼付して使用するもので、水分の乾燥時の気化熱を利用して冷却、生薬の成分による薬効、乾燥後の固定効果も併せ治療効果を上げておられたと思われる。その中の材料として接骨木霜末（ニワトコを焼いた灰）が使われていた。この配合が元々、小西先生の考案なのかどうかは不明であるが試行錯誤されて改良を加えられたものと思われる。

整骨散の成分	
黄柏末（キハダ）	5
大山椒末（ニッキ皮）	1
楊梅皮末（ヤマモモの樹皮）	1
山梔子末（クチナシの実の粉末）	2
接骨木霜末（ニワトコを焼いた灰）	1
骨炭末	1 (2)
桑葉炭末（ヨモギなど）	1 (0)
桂皮末	1
上記1：小麦粉10の割合で2%硼酸水にて攪拌	



ハンズ・トーマ
「ニワトコの木の下で」

部に貼付して使用するもので、水分の乾燥時の気化熱を利用して冷却、生薬の成分による薬効、乾燥後の固定効果も併せ治療効果を上げておられたと思われる。その中の材料として接骨木霜末（ニワトコを焼いた灰）が使われていた。この配合が元々、小西先生の考案なのかどうかは不明であるが試行錯誤されて改良を加えられたものと思われる。

◎ニワトコ雑話

1. 「ウォーキング・デッド」というアメリカのゾンビ系サバイバルドラマを見ていたら、ニワトコを森で採取して、お茶としてインフルエンザの症状緩和に利用するという場面が出てきた。
2. 海外（特にヨーロッパ）でのニワトコ（セイヨウニワトコ）の扱いは多様性に富んでいる。食用、薬用、呪術に使用、不死の象徴、女神の木、魔女除けの木、魔女の木、埋葬に使う、十字架を作る等々、治癒力を称えたり、霊的な木として崇めたり、逆に忌み嫌ったりされることもあるようだ。
3. J・K・ローリングの「ハリー・ポッター」シリーズは壮大かつ奇抜な魔法を扱った有名な小説で、映画を見た人も多いと思う。シリーズの『ハリー・ポッターと死の秘宝』にはセイヨウニワトコの杖が「最強の杖」として登場する。主人公ハリーのひどく破壊された杖を治す力を持った杖なのであった。



ドラマ「ウォーキング・デッド」
でのニワトコ採取シーン

（広報部 安田優二）

参考・引用文献及びウェブサイト

- ・フリー百科事典 Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/ニワトコ>
- ・多摩丘陵の植物と里山の研究室 <http://www.geocities.jp/tama9midorijii/>
- ・著作権フリー画像サイト Pixabay <https://pixabay.com/>
- ・パブリックドメイン Q: 著作権フリー写真・イラスト <http://publicdomainq.net/>
- ・万葉集遊楽 <http://manyuraku.exblog.jp/17866604/>

会員の動静

正会員→賛助会員

11月 阪野慎介（右京支部）

退会

10月 水口義博（右京支部）

昇段者の紹介

平成29年7月2日（日）京都医健専門学校で行われた「夏季京都府柔道整復師・養成学校特別昇段審査会」において、中京支部 田井 覚会員、下京・南支部 林 晃平会員が初段に昇段されました。

また、南山城支部 田中茂郎会員は五段、北支部 面村美紀会員は三段になりました。

皆様、おめでとうございます。



田井覚先生

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

		柔 整 関 係	京 都 の 行 事
2月	3日(土)		節分祭
	4日(日)	平成29年度 第2回目運動器疾患対応力向上研修事業 (京都商工会議所)	
	18日(日)		京都マラソン2018
3月	18日(日)	第70回京都接骨学会・保険講習会 平成29年度 第3回目運動器疾患対応力向上研修事業 (京都商工会議所)	第52回京の冬の旅 非公開文化財特別公開 (1/10~3/18)
4月	22日(日)		稲荷祭神幸祭（伏見稲荷大社） 神幸祭（松尾大社）

毎月、第3土曜日に保険説明会が開催されます。（詳しくは事務局まで問い合わせてください）

編集後記

○ 平成30年度は療養費改定の年度になります。今までの取組がどう評価されるのか、注目したいと思います。

森田康裕

○ 新たな年がやってきた。私事ではあるが昨年は還暦を迎え、酉年の周り年で年男でもあった。ある意味、節目ともいえる。身体は実際には色々あるが大病はせず何とか元気である。日常にももちろん色々あるが気にするときはないので日々悲観しないように過ごすことにしている。平均寿命も健康寿命も年々伸びてきているが、自分が元気でころっと逝けるかは死ぬまで判らない。年上の70代以上の世代とお話すると「60歳！若いなあ」と羨まれる。でもその人たちが私より元気に思えてしまう。さて、私の60代のステージはどのような展開になるだろうか。

Yuji

○ 新年明けましておめでとうございます。京柔整会員の皆様にとって良き年となるよう願っております。本年も微力ながら広報部の一員として頑張っていこうと思いますので、宜しくお願いします。気候もめっきり寒くなり、空気も乾燥しがちな季節ですので、皆様どうかお身体ご自愛ください。

しんじ

○ 新たな年を迎え、活動と決心の年としたいと、心理学者のマーティン・セリグマンの「幸福の5要素 PERMA」を紹介します。P：ポジティブ感情（前向き）、E：エンゲージメント（夢中になる）、R：リレーションシップ（人間関係）、E：ミーニング（意義）、A：アチーブメント（達成感）。今年も、気持ちと行動にブレの無い一年にしたいと思います。よろしくお願いたします。

☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 2月24日

京柔整会報 機関誌 146号

平成30年1月20日

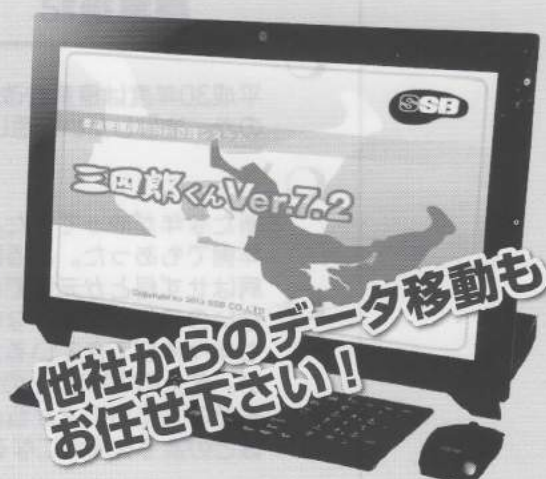
発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦
編集責任者 広報部 中川 稔 貴
発行所 京都市中京区壬生松原町16番地 室谷ビル3階
☎ 京都 (075) 813-1156
(広報部)
印刷所 奥原印刷紙行
京都市西京区松室北河原町205
TEL. (075) 381-5611
FAX. (075) 392-0111

導入実績10,000件以上！ 接骨院・整骨院専用のレセコンなら『三四郎くん』

柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くんVer.7.2

療養費改正等の保険改正にすばやく対応。
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



※一部ご希望に添えない場合があります。



オプションで
さらに便利!



超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



医療機器認証番号:
225AHBZX00034
製造販売元: 本多電子株式会社



医療機器認証番号:
227ABBZX00109000
製造販売元: 株式会社日立製作所

Xario 100 S Edition

医療機器認証番号:
225ACBZX00066000
製造販売元: 東芝メディカルシステムズ株式会社

※その他、様々な機種を取り揃えております。



東京ショールーム・ 超音波研修センター

多くの先生方に超音波観察装置をご理解
いただくため、「東京ショールーム・超音
波研修センター」を開設致しました。
当社で取り扱いのある超音波画像観察装
置を実際にご使用いただけます。
また、定期的に超音波セミナーも開催し
ていますので、お気軽にご相談ください。

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

<https://www.sanshiro-net.co.jp/home/>

【関西営業所】〒532-0011

大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号
TEL 06-6390-3462 / FAX 06-6390-3463

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
▶▶ <http://www.jusei-news.com/>

詳しくはこちら





学校法人
明治東洋医学院

スポーツ × 医療

～新たな可能性を切り開く学び～

◎中学・高校保健体育 一種免許状取得可能 ※皇様大学との協定による

◎鍼灸師 + 柔道整復師のWライセンス取得を全面サポート

トップアスリート、スポーツメディカリストを目指す

明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189
URL <http://www.meiji-u.ac.jp>



大学HPは
コチラ!!

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53
TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800
URL <http://www.meiji-s.ac.jp>



専門学校HPは
コチラ!!

看護学部 看護学科

- 目指す資格
- 看護師・保健師・助産師 (国家資格)
 - 看護教諭二種免許
 - 第一種衛生管理者免許
 - アロマセラピスト (認定資格)

保健医療学部 救急救命学科

- 目指す資格
- 救急救命士 (国家資格)
 - 健康運動実践指導者
 - スポーツプログラマー
 - ジュニアスポーツ指導員
 - ベーシック・サーフ・ライフセーバー

柔道整復学科

- 目指す資格
- 柔道整復師 (国家資格)
 - アスレチックトレーナー (JATAC)
 - スポーツプログラマー
 - ジュニアスポーツ指導員
 - 健康運動実践指導者

鍼灸学部 鍼灸学科

- 目指す資格
- はり師・きゅう師 (国家資格)
 - 健康運動実践指導者
 - アスレチックトレーナー (JATAC)
 - スポーツプログラマー

鍼灸学科 [医療専門課程3年制]

- 目指す資格
- はり師・きゅう師 (国家資格)
 - アスレチックトレーナー (JATAC)
 - スポーツアロマトレーナー (JSTA)
 - アロマコーディネーター (JAA) etc.

柔整学科 [医療専門課程3年制]

- 目指す資格
- 柔道整復師 (国家資格)
 - アスレチックトレーナー (JATAC)
 - スポーツアロマトレーナー (JSTA)
 - アロマコーディネーター (JAA) etc.



北京整风运动委员会

本会定于一九四九年十月一日在北京市正式成立。其宗旨为：领导全市各界人民，开展整风运动，肃清封建主义、官僚主义、宗派主义和主观主义，使党和政府的工作，更臻于实事求是，更臻于群众路线，更臻于民主集中制，更臻于党的统一，更臻于党的团结，更臻于党的纪律，更臻于党的纯洁，更臻于党的巩固，更臻于党的发展，更臻于党的胜利。

北京整风运动委员会

本会定于一九四九年十月一日在北京市正式成立。其宗旨为：领导全市各界人民，开展整风运动，肃清封建主义、官僚主义、宗派主义和主观主义，使党和政府的工作，更臻于实事求是，更臻于群众路线，更臻于民主集中制，更臻于党的统一，更臻于党的团结，更臻于党的纪律，更臻于党的纯洁，更臻于党的巩固，更臻于党的发展，更臻于党的胜利。